

HITACHI  
Inspire the Next

Prius  
Cモデル

トラブルを賢く防ぐ、解決する 1

パソコンQ&A 2

サービス&サポート 3

## 困った時のQ&A


マニュアルをよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

# このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、トラブルを防ぐ方法や、困ったことが起こったときの解決策とヒントを説明します。

本書では  の部分について説明します。

パソコンを使い始めたら



1章 トラブルを賢く防ぐ、  
解決する

「これだけは行ってはいけない」ということや、「こうしたほうが安全だ」ということをまとめています。また、起こりがちなトラブルへの対処方法を紹介しています。安心してパソコンを使うためにぜひ知っておきましょう。困ったことが起こる前に、目を通してください。

## パソコンの最新情報や 困った時の対策情報

パソコンに関する最新情報やドライバーのダウンロード情報、困ったことが発生した場合の対策方法などをホームページに掲載しています。ご参照ください。

最新情報について

<http://prius.hitachi.co.jp/>

(2002年4月1日現在)

パソコン使用中に、  
困ったことが起こったら






あれ、おかしいなと思ったら

パソコンを使っていて困ったことが起こった場合は、ここを読んで、該当するマニュアルをご参照ください。

## マニュアルの表記について

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

	重要事項や使用上の制限事項を示します。
	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
	参照先を示します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは、一例です。機種によっては、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンなどを省略している場合があります。

どうしても解決しないときは



## 1章 トラブルを賢く防ぐ、 解決する

## 2章 パソコンQ&A

パソコン全般、Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition(以下、Windows XPまたはWindows)、アプリケーション、インターネット、メールに関するQ&A集です。困ったことが起こったら、お読みください。

## ほかのマニュアルやWindowsの ヘルプなど

### 【Webコンタクトセンター】

Priusの使い方がわからない、動作がおかしいので相談したいが、安心コールセンターの受付時間が終了している。

こんな場合も大丈夫。

365日、24時間、必要な時にインターネットでお問い合わせいただけます。

URL: <http://prius.hitachi.co.jp/go/support/servinf/>  
(2002年4月1日現在)

「Webコンタクトセンター」をご利用いただくためには、ユーザー登録が必要です。ユーザー登録はインターネットで登録できます。

URL: <http://prius.hitachi.co.jp/tourouku/>  
(2002年4月1日現在)

### 【日立 FLORA 安心コールセンター】

Priusの使い方がわからないので教えてほしい、動作がおかしいので相談したい、修理を依頼したいといった場合はお電話ください。専門のテクニカルエンジニアがおお客様の疑問を解決いたします。

・受付時間: 10:00 ~ 22:00( 平日、土日、祝日 )

・電話: 0120-8855-96( フリーダイヤル )  
03-3298-6750( 一般回線 )

\*1月1日は休ませていただきます。

電話での対応は、国内に限らせていただきます。

なお、携帯電話などの移動体通信機器はご利用いただけません。

URL: <http://prius.hitachi.co.jp/>  
(2002年4月1日現在)

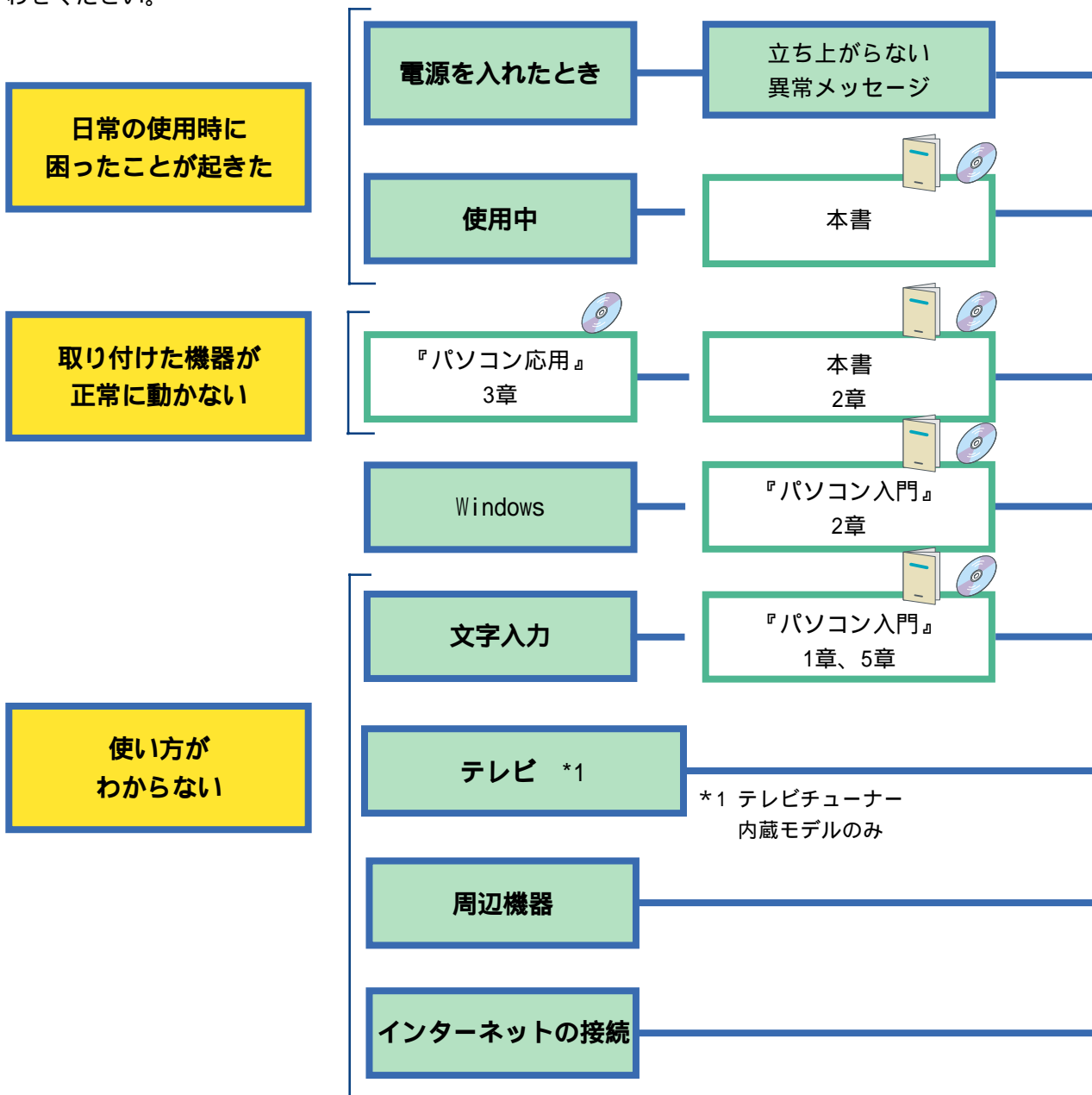
# もくじ

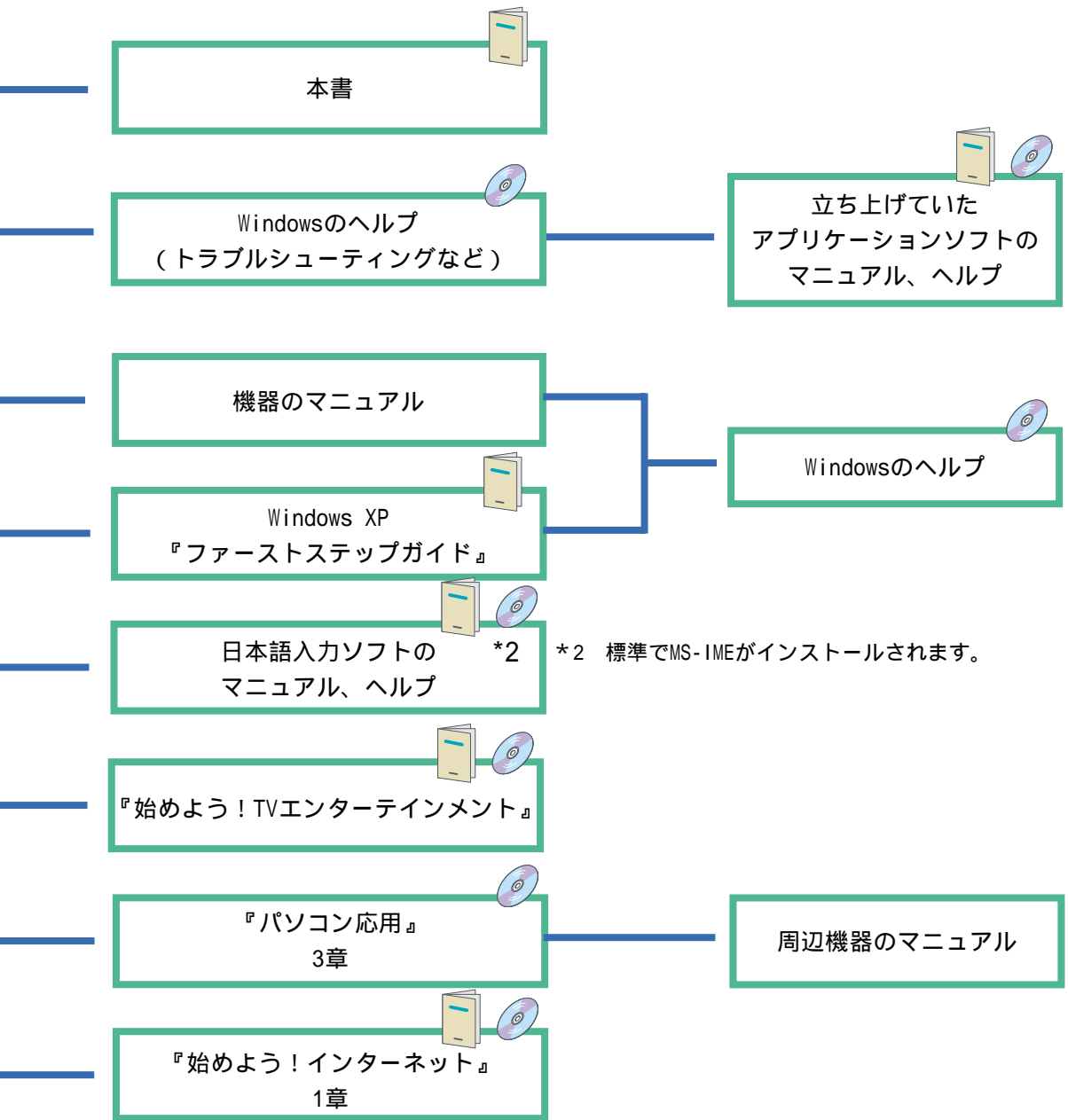
このマニュアルの使い方	
パソコンの最新情報や困った時の対策情報	2
マニュアルの表記について	2
もくじ	2
あれ! おかしいな、と思ったら	4
困ったときのお問い合わせ先	6
お問い合わせに当たって	6
<b>1章</b> トラブルを賢く防ぐ、解決する	<b>7</b>
電源を入れたまま機器のケーブルを抜き差ししない	8
通常、ハードディスクをフォーマットしない!	9
アプリケーションのフォルダーやファイルをいじらない	10
コンピューターウイルスは、予防が第一!	11
データを必ずバックアップしておく	12
トラブルの被害を少なくするには?	13
電源を入れたら「Non-System disk or disk～」と表示されて起動できない	14
電源を入れたら、こんなメッセージが...	15
ソフトが動かなくなってしまった!あわてない、あわてない	16
いつの間にか、画面が真っ暗になっている!	17
接続した機器が正常に動作しない!というときは	18
フロッピーディスクを使おうとしたら	
「...フォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか?」	
と、表示された	20
ドライバーなどをインストールしたら	
「Windows XP Home Edition CD-ROM」のラベルの付いたCDを...	
と、表示された	21
異常な動作が続いて、どうしても解決しないときは	22
<b>2章</b> パソコン Q & A	<b>25</b>
パソコンがヘン!	26
ディスプレイの表示がおかしい	27
キーボードの動作がおかしい	29
マウスの動きがヘン!	30
音が聞こえない、録音できない	32
プリンターで印刷できない	33
フロッピーディスクの異常	34
CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM/R、DVD-ROM&CD-R/RWドライブ	35
NetMDドライブ	36
ハードディスクのトラブル	36
アクセスランプ	38
バッテリーのトラブル(ノートパソコンの場合)	39

ポインティングパッドのトラブル(ノートパソコンの場合) .....	39
その他の周辺機器のトラブル .....	39
システムの動作がおかしい .....	41
デスクトップの表示がヘン! .....	44
ファイルがうまく管理できない .....	47
インターネット使用中のトラブル .....	48
インターネットブラウザのトラブル .....	52
メールの送受信がうまくいかない .....	55
一括セットアップできない .....	56
電子マニュアルの操作で困った! .....	56
ソフトウェアのトラブル .....	57
ソフトウェアをもっと使いこなしたい .....	58
<b>3章 サービス&amp;サポート .....</b>	<b>59</b>
お問い合わせ情報 .....	60
トラブルチェックシート .....	63
ユーザー登録について .....	64
訪問レスキュー解決隊(有料サービス) .....	65
アフターケアについて .....	68
さくいん .....	69

# あれ! おかしいな、と思ったら

まず、マニュアルやヘルプにチェックポイントや解決策が書かれていないか当たってみましょう。下図を参考に探していけば、見落としがなくなります。どうしてもわからないときは、各製品のメーカーや販売店、FLORA安心コールセンターにお問い合わせください。





## 困ったときのお問い合わせ先

本書やほかのマニュアルを読んでも、使い方がわからない、トラブルが解決しない！  
という場合は、次へお問い合わせください。あらかじめ、トラブルチェックシートに  
記入しておいてください。

### アプリケーションに関しては、3章「サービス&サポート」の電話番号へ

ご購入時にパソコンに組み込まれているアプリケーションについては、3章「サービ  
ス&サポート」の電話番号へお問い合わせください。各アプリケーションソフトの  
販売元や開発元が受け付けています。

### 機器の増設に関しては、各機器の販売元や開発元へ

周辺機器などの増設は、お客様の責任で行い、ご使用ください。機器の組み合わせで  
問題が起こるケースもありますので、増設したすべての機器のメーカー名や製品名  
をご確認の上、各機器の販売元や開発元へお問い合わせください。

### その他のお問い合わせは、「Webコンタクトセンター」「FLORA安心コールセンター」へ

「どうしても解決しないときは」に記載のアドレスや電話番号へお問い合わせくだ  
さい。

## お問い合わせに当たって

お客様のパソコン環境を確認させていただきます。次のような準備をした上でお問  
い合わせください。まず、お名前をお伝えください。

### 機種名、購入年月日などを前もって確認

機種や製造時期によって対処のしかたが異なる場合があります。機種名は、「日立  
パーソナルコンピュータ保証登録書」の形名でご確認ください。アプリケーション  
の場合は、バージョン番号やシリアル番号も重要です。たずねられたらすぐに答え  
られるようにしておきましょう。

### トラブルの内容を伝える

次ページのトラブルチェックシートに、あらかじめ必要事項を記入します。そして、  
どのような状態のときにどんな問題が起こったのか、どのような対処をしてみたの  
か、現在はどんな状態なのかなど、トラブルの内容をお話ください。またいつも必ず  
同じことが起こるか、起こったり起こらなかったりするのかなど、細かい状況もお  
話してください。状況を的確にお伝えいただければ、それだけ解決も早まります。

### 本書や関連ソフトウェアのマニュアルはお手元に

解決方法がマニュアルに載っているのに、気付かないこともあります。お電話で「  
マニュアルの 頁をご覧ください。」とお話する場合があります。

### パソコンを操作しながらのほうが良い場合も

ご質問の内容によっては、パソコンを操作して確認していただいたほうが良い場合  
もあります。もし、お電話がパソコンの近くにあるときは、パソコンを操作できるよ  
うにご質問ください。



# 1

## 章

# トラブルを賢く防ぐ、解決する

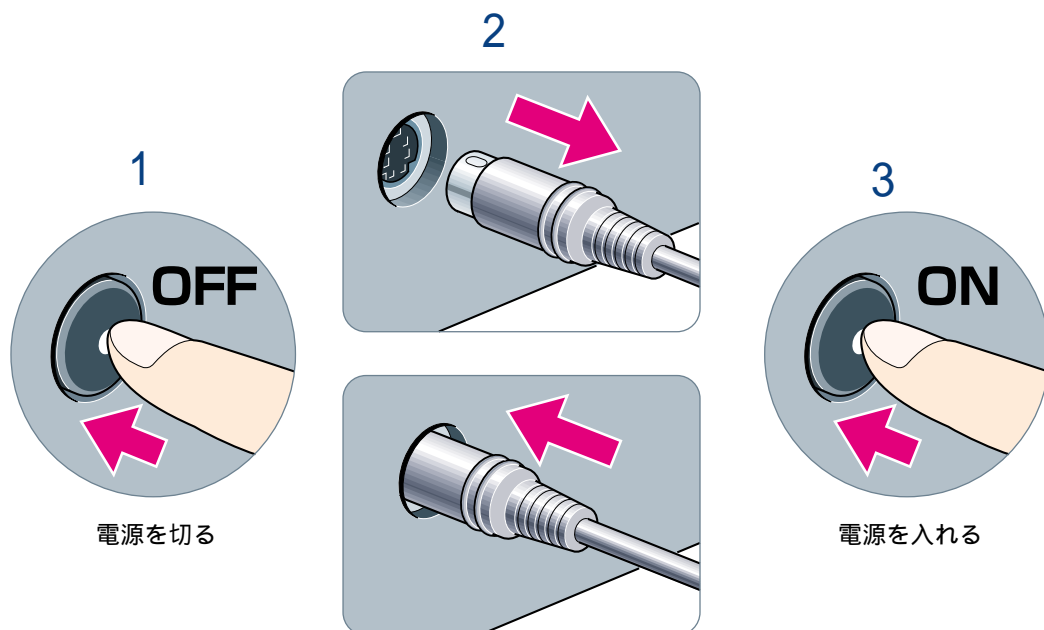
この章では、  
トラブルを防ぐための方法、起こりがちなトラブルへの対処方法を  
紹介しています。  
トラブルが起こる前にぜひ一度お読みください。

# 電源を入れたまま 機器のケーブルを抜き差ししない

## 必ず電源を切ってから

パソコンには、キーボードやマウスなどを接続していますね。プリンターやスキャナーなども接続しているかもしれません。これらの周辺機器を取り外したり接続したりするには、必ずパソコンや周辺機器の電源を切ってから行いましょう。電源を入れたままケーブルを抜き差しすると、それ以降正しく動作しなくなる場合があります。例えば、画面が凍りついたように動かなくなったり、ハードディスクのファイルが壊れたり、いろいろなトラブルが発生します。ケーブルの抜き差しの前には電源を切る、ということくれぐれもお忘れなく。

- 1 パソコンと周辺機器(プリンターなど)の電源を切る。電源コードも抜いておく。
- 2 ケーブルを差すときは、コネクタの色や向きに気をつける。
- 3 周辺機器 パソコンの順で電源を入れる。



### USB、i.LINK接続機器はだいじょうぶ

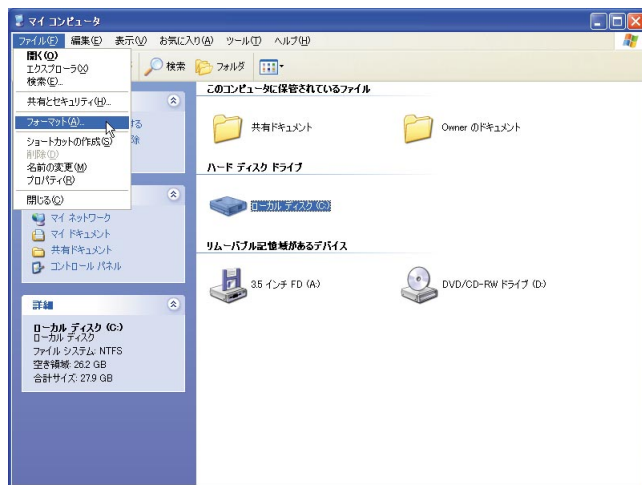
USB コネクタ ( ) や i.LINK コネクタは、通知領域の「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックして使用していたUSB機器を停止させてください。パソコンの電源を入れたままケーブルを接続したり、取り外したりできます。

「通知領域」は、タスクバーの右側のアイコンが表示されている部分のことです。

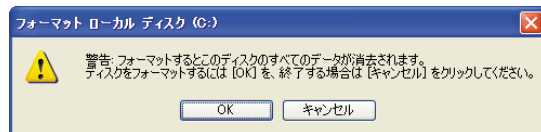
# 通常、ハードディスクを フォーマットしない!

## データがすべて消えてしまう

パソコンのハードディスクにはさまざまなソフトウェアが入っていて、すぐに使用できる状態になっています。このハードディスクをフォーマットしてしまうと、すべてのソフトウェアが消えてしまいます。通常は、フォーマットしないでください。Windowsのマイコンピュータの[ファイル]メニューには[フォーマット]という項目があります。しかし、Windowsなどが入っているハードディスクのドライブCはフォーマットしないでください。



ドライブを選択していないときは、[フォーマット]の項目は表示されません。Windowsなどが入っているハードディスクは、このメッセージが表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックして、フォーマットを終了してください。



## フォーマットとは？

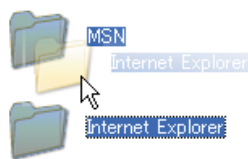
フォーマットとは、使用していないハードディスクやフロッピーディスクを使えるようにするための準備作業のことで、「初期化」ともいいます。

# アプリケーションのフォルダーやファイルをいじらない

## Windowsシステムやアプリケーションが立ち上がらなくなる

ドライブCの「Windows」フォルダーにはWindowsシステムが入っています。また、さまざまな名称のフォルダーにはワープロや表計算などのアプリケーションが入っています。これらのフォルダーやその中のファイルは、通常、表示されないように設定されています。

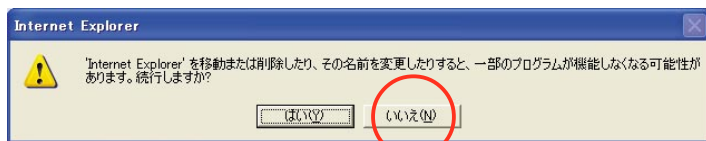
[このフォルダの内容を表示する]をクリックするとフォルダーやファイルが表示されるようになりますが、その場合も削除や移動・名称変更は行わないでください。移動や名称変更をしようとすると、作業を続けるかどうかメッセージが表示されます。このときは、必ず[いいえ]ボタンを押して、変更を中止してください。そのまま続けると、アプリケーションが正しく動かなくなります。



フォルダーを移動しよう  
としたり、



フォルダーの名称を変更しよう  
としたりしたときに、



このメッセージが出たら、  
[いいえ] ボタンをクリック  
し、変更を中止する。

## なぜ、フォルダーの移動や名称変更をすると立ち上がらなくなるのか

アプリケーションをインストールすると、Windowsはそのソフトがインストールされた場所（フォルダー名）を市町村の住所のように、記録します。アプリケーションを[スタート]メニューの[すべてのプログラム]などで選択すると、Windowsはインストールしたときの情報を元に、必要なファイルをフォルダーから探します。もし、このとき、フォルダーが移動されていたり名称が変更されていたりすると、必要なファイルを見つけられないため、立ち上がらないことがあります。

# コンピューターウイルスは、 予防が第一!

## 被害にあってからでは遅すぎる

コンピューターウイルスとは、フロッピーディスクや通信回線からパソコンに感染してプログラムやデータのファイルを破壊してしまうプログラムです。知らないうちに感染して広がっていくため、予防対策が最も大切なことは、人間の病気とそっくりです。付属のVirusScanを使用し、きちんとした感染予防策を取ることを推奨します。セットアップしてお使いください。

- 参照 ・ セットアップの方法について 『接続と準備』6章の「再セットアップについて」
- ・ VirusScanの使い方について 電子マニュアル『パソコン応用』の「コンピューターウイルスをチェックする」

### ウイルスの被害を防ぐには

出所不明のプログラムやフロッピーディスクは使わない。

出所不明のメールは開かない。

入手したプログラムやデータは、ウイルスチェックソフトでチェックする。特にネットワーク経由で入手した場合は気をつける。

ウイルス情報やワクチンプログラムはPrius worldで

「Prius world」から、最新のウイルス情報を入手できます。さらに、ウイルス対策マニュアルもあります。ぜひ一度は目を通しておきましょう。ワクチンプログラムのダウンロード販売も行っています。club FLORA または ワイワイ FLORA への入会が必要です。

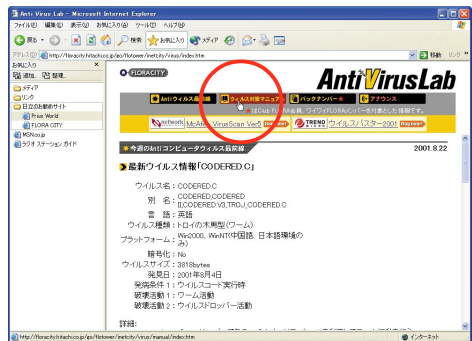
1 インターネットエクスプローラの「お気に入り」から「日立お勧めのサイト」フォルダーの「Prius World」をクリック。Prius worldの画面になったら、ウイルス情報のページへ。

コンピューターウイルスに関する最新情報が見られます。



2 「ウイルス対策マニュアル」をクリック。

ウイルスに感染したときの症状、駆除の方法など、基礎的な知識が得られます。



2002年4月現在

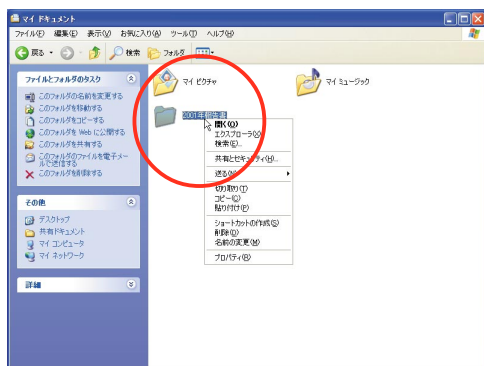
# データを必ずバックアップしておく

## バックアップが大切なデータを救う

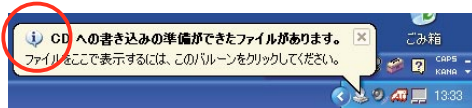
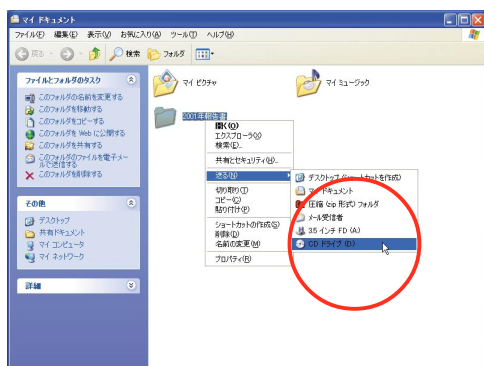
もし、苦労して作り上げた報告書や住所録などの大切なデータが、ハードディスクの故障などによって消えてしまったら…。考えただけでもゾッとしますね。予期しないトラブルから大切なデータを確実に守るには、そのデータをフロッピーディスクやCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RAMなどにコピーしておくのが一番。これを「バックアップする」といいます。大切なデータは、日頃からこまめにバックアップしておく習慣をつけましょう。

### CD-R/RWにコピーする

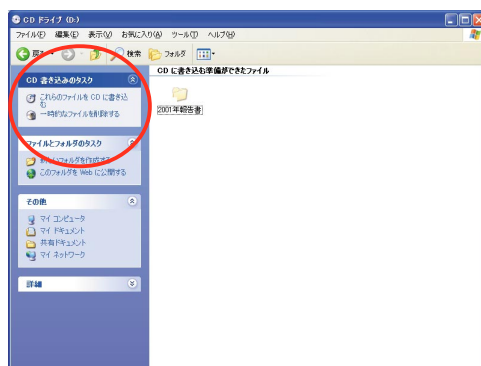
- 1 空のCD-R(またはCD-RW)をCD-R/RWドライブに入れる。
- 2 コピーしたいファイルまたはフォルダーを選択する。
- 3 ファイルまたはフォルダーが選択された状態で、マウスの右ボタンをクリック。
- 5 画面右下に表示されるメッセージの「i」ボタンをクリック。
- 6 [これらのファイルをCDに書き込む]をクリック。



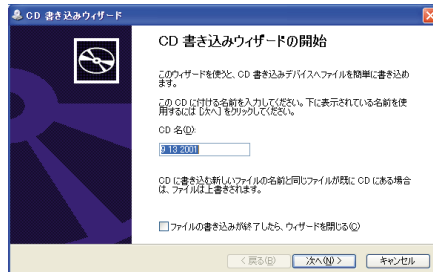
- 4 [送る]の[CDドライブ]をクリック。



- 6 [これらのファイルをCDに書き込む]をクリック。



- 7 [CD書き込みウィザード]に従って進む。



これで、ファイルやフォルダーがCD-R/RWにコピーされる。

# トラブルの被害を少なくするには？

1

トラブルを賢く防ぐ解決する

## ちょっとしたコツで、被害を少なくできる

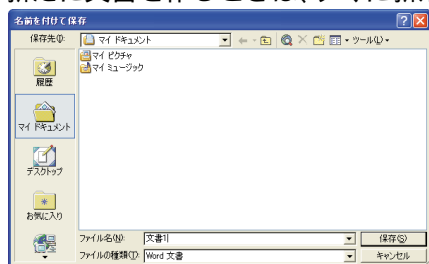
「トラブルは避けられないもの」と考えて、普段から被害を少なくする対策をとっておきましょう。簡単に効果的な2つの方法を紹介します。

1つめは、文書をこまめに保存する習慣をつけること。新しく文書を作るときには、作業を進める前にまず新規ファイルとして保存しましょう。作業が一段落したとき、パソコンの前を離れるとき、印刷する前などの節目には、こまめにファイルを保存しましょう。アプリケーションによっては、「自動保存」の機能があります。活用しましょう。

2つめは、ドライバーやアプリケーションは1つずつインストールして、そのつど正常に動作することを確認します。複数のソフトウェアを連続してインストールすると、その直後にトラブルが発生したとき、原因を突き止めに難しくなります。

### 保存の習慣をつける(Wordの例)

#### 1 新たに文書を作るときは、すぐに新規ファイルとして保存する



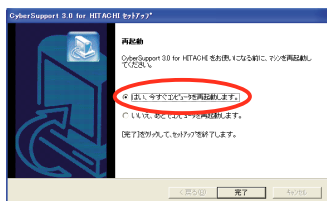
作業を進める前に、「名前を付けて保存」でファイルを作成しましょう。

#### 2 作業中もこまめに保存する



このボタンを押して、こまめに「上書き保存」を行きましょう。

### ソフトウェアは1つずつインストールする



ドライバーやアプリケーションは1つずつインストールと動作確認を繰り返しましょう。インストール後にパソコンの立ち上げ直しが必要な場合は、そのつど立ち上げ直して、正常に動作することを確認しましょう。

# 電源を入れたら

## 「Non-System disk or disk～」

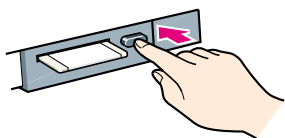
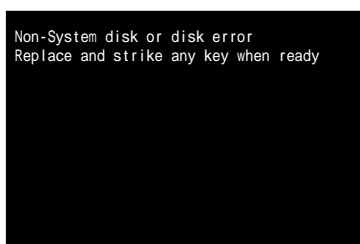
## と表示されて起動できない

### フロッピーディスクが入ったままになっていないか、まず確認する

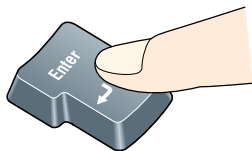
文書ファイルなどのフロッピーディスクを入れたまま電源を入れると、このメッセージが表示されます。フロッピーディスクを抜いて[Enter]キーを押すと、いつものようにWindowsが立ち上がります。このようなトラブルを避けるために、電源スイッチを切る前にはフロッピーディスクを抜いておく習慣をつけましょう。

機種によっては、フロッピーディスクドライブが標準で付いていない場合があります。機種やフロッピーディスクのフォーマット形式などによって、表示されるメッセージが異なる場合があります。

- 1 このような画面が表示されたらフロッピーディスクを取り出す。



- 2 Enterキーを押す。



- 3 いつもの画面が表示される。

### こんなときにはウイルスに感染しやすい

病気のウイルスと同じようにコンピューターウイルスも、どんどん増殖します。自分だけは平気だろうと思わず、ウイルスチェックソフトを使用して、いつもウイルスを監視できるようにしてください。特に、フロッピーディスクを入れたまま、うっかり電源を入れてしまったときは、起動と同時にウイルスをチェックする手段がないため、ウイルスに感染しやすくなります。



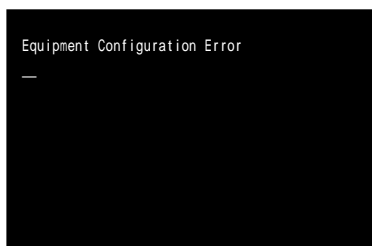
# 電源を入れたら、こんなメッセージが...

1

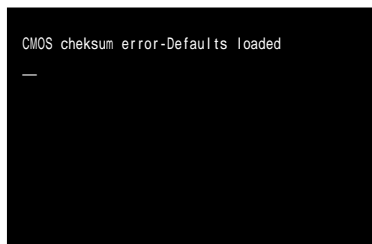
トラブルを賢く防ぐ解決する

## 慎重にメッセージを確認

電源を入れたときに、次のように黒い画面に意味のよくわからないエラーメッセージが表示されたら、メッセージの内容を正確にメモしてください。販売店などに連絡する必要があるかもしれません。



パソコンのBIOSメニューという部分の設定が誤っているときに表示されるメッセージの例。  
(機種により異なります)



パソコンの内蔵時計などを動かすCMOSバッテリーが消耗したときに表示されるメッセージの例。

このようなエラーメッセージが表示されたら、BIOSメニューの設定に問題がある可能性があります。付属のマニュアル『接続と準備』6章の「再セットアップについて」「BIOSの設定をご購入時の状態に戻す」を参照して、セットアップを行います。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い求め先かFLORA 安心コールセンターへご連絡ください。

**参照** FLORA 安心コールセンターの連絡先は 「日立 FLORA 安心コールセンター」

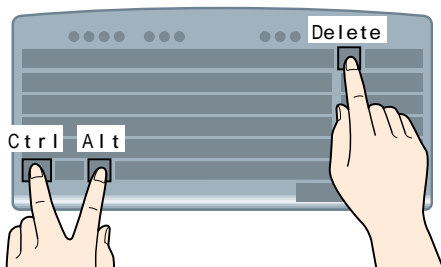
再び電源を入れたときにエラーが表示されなくても、同一エラーが頻繁に再現する場合には、お買い求め先にご連絡ください。

# ソフトが動かなくなりました! あわてない、あわてない

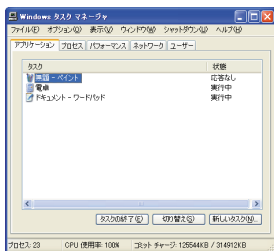
## プログラムを強制的に終了させる

使っていたアプリケーションが突然動かなくなったり、動きがおかしいというときでも、あわてなくて大丈夫。ほとんどの場合、そのときに立ち上げてある、ほかのアプリケーションに影響を与えずに、動かなくなってしまったソフトだけを強制的に終了させることができます。この方法でもプログラムを終了できないときや、ほかのアプリケーションやWindowsもまったく動かなくなってしまった場合は、しばらく様子を見てから、最後の手段として、4秒以上電源スイッチを押し、電源を切ってください。

- 1 アプリケーションが突然動かなくなったら、[Ctrl]キーと[Alt]キーを押したまま[Delete]キーを1秒以上押して離す。
- 3 [プログラムの終了][Q]すぐに終了]ボタンをクリック。



- 2 強制終了したいプログラムを選んで、[タスクの終了]ボタンをクリック。



- 4 [Windowsタスクマネージャ]のウィンドウ右上の[X]ををクリック。

- 5 動かなくなってしまったプログラムが終了し、作業を続けられる状態に戻る。<sup>\*1</sup>  
この場合、作業中で保存していないデータは失われます。

<sup>\*1</sup> 状態が戻らないときは、手順2で、もう1度[Ctrl]キーと[Alt]キーを押したまま[Delete]キーを1秒以上押して離してください。パソコンが立ち上げ直されます。

## チェックディスクツールでエラーチェックを

プログラムを強制終了させた場合は、ディスクのファイルが壊れる場合もあります。念のためチェックディスクツールを実行し、エラーチェックをしてください。

**参照** チェックディスクツールの実行方法について 2章の「システムの動作がおかしい」

# いつの間にか、画面が真っ暗になっている!

## 心配はいりません、省電力機能が働いているためです

パソコンの前を離れたり、手を休めている間に、画面が真っ暗になっていることがあります。これは省電力機能が働いたためです。[ Shift ]キーを押したり、マウスなどを動かしてください。画面は元の状態に戻ります。省電力機能は、働くまでの時間を調整したり、働かないようにする事ができます。

**参照** 節電機能の設定変更について 電子マニュアル『パソコン応用』2章の「消費電力を節約する」

- 1 パソコンの前を離れたら画面が真っ暗になっていた、というときは...
- 2 [ Shift ]キーを押したり、マウスなどを動かすと、画面は元の状態に戻る。

**ヒント**▶ これ以外の操作を行っても、画面は元に戻りますが、動作中のプログラムに文字が入力されてしまったり、不要な動作をしてしまうことがあります。
- 3 これらのことを行っても画面が真っ暗なときは、「システムスタンバイ」または「システム休止状態」です。この場合は電源スイッチを押します。ただし4秒以上押さないでください。
- 4 ログオン画面が表示されたら、ユーザー名をクリック。
- 5 画面は元の状態に戻る。

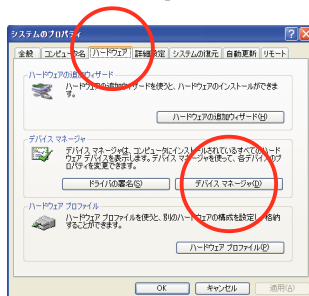
# 接続した機器が正常に動作しない! というときは

## 問題点を見つけるチェックポイント

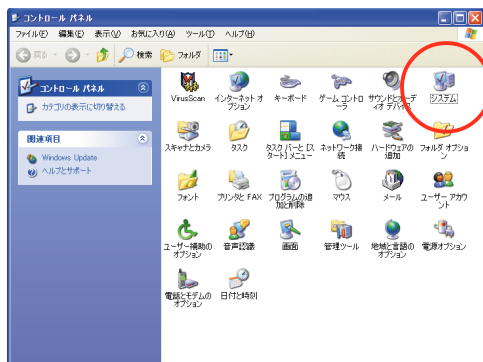
ケーブルが確実に接続されているか、周辺機器の電源が入っているかを確認します。パソコンの電源を入れる前に、接続した機器の電源を入れておきます。さらに、周辺機器によっては、付属のドライバーソフトをインストールする必要があります。周辺機器を使う準備が完了しているか、もう一度マニュアルで確かめてください。それでも動かないときには、機器の状態をWindowsのデバイスマネージャで確認しましょう。エラーメッセージなどを表示しているときは、ハードウェアの追加ウィザードが必要なドライバーをインストールし直してください。

### デバイスマネージャで確認する

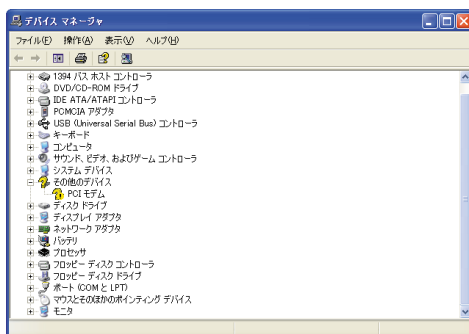
- 1 [スタート]メニューの[コントロールパネル]をクリック。
- 2 [システム]アイコンをダブルクリック。
- 3 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリック。
- 4 ?マークが付いている、名前がリストにならない、「その他のデバイス」になっているなどの場合は、機器が正しく組み込まれていないので、ハードウェアの追加ウィザードを使う。



- 2 [システム]アイコンをダブルクリック。



- 4 ?マークが付いている、名前がリストにならない、「その他のデバイス」になっているなどの場合は、機器が正しく組み込まれていないので、ハードウェアの追加ウィザードを使う。

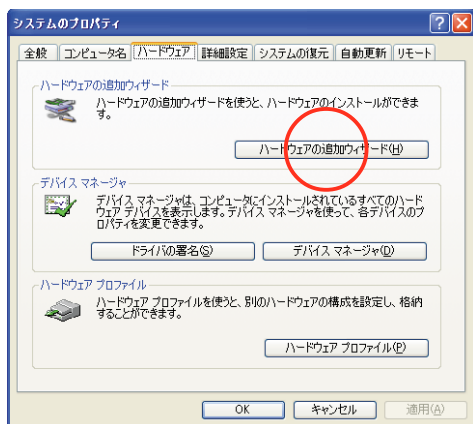


**ヒント** ▶ [コントロールパネル]に[システム]アイコンが表示されていないときは、[クラシック表示]に切り替えます。

- 5 [デバイスマネージャ]のウィンドウ右上の[×]ボタンをクリック。

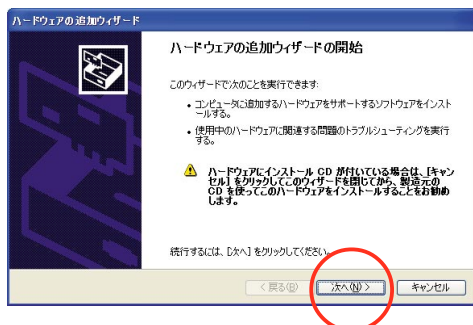
## ハードウェアの追加ウィザードを使う

- 1 [システムのプロパティ]の[ハードウェア]タブの[ハードウェアの追加ウィザード]ボタンをクリック。



- 2 [次へ]ボタンで手順通りに進めていくと、パソコンに接続されている機器を自動的にインストールできる。[インストールされているハードウェア]の一覧に機器が表示されていないときは、[新しいハードウェアデバイスの追加]を選んで「ハードウェアを検索して自動的にインストールする」を選ぶ。

「一覧から選択したハードウェアをインストール



する」を選ぶと、接続している機器名や製造元などを指定することができます。「ハードウェアを検索して自動的にインストールする」を選んだ場合は、周辺機器のマニュアルを参照して、ドライバーをインストールします。

1

トラブルを賢く防ぐ・解決する

# フロッピーディスクを使おうとしたら「・・・フォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」と、表示された

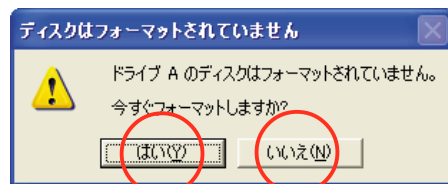
## あわてて「はい」ボタンを押さない

このメッセージは、パソコンで読めないフロッピーディスクを使おうとしたときに表示されます。読めるのは、720KB/1.44MBのフロッピーディスクです。Macintoshのフロッピーディスクなどは読むことができません。また、弊社以外のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクは読み書きできない場合があります。人から受け取ったフロッピーディスクのときは、「いいえ」ボタンをクリックして、どんなパソコンでフォーマットしたかをその人に確かめてください。あわてて、「はい」ボタンを押すとフロッピーディスクの中身は消えてしまいます。新品のフロッピーディスクは、そのままでは使えないので、「はい」ボタンをクリックして、フォーマットしましょう。

機種によっては、フロッピーディスクドライブが標準で付いていない場合があります。オプション品をチェックしてください。



このメッセージが出たら、あわててボタンをクリックしないで、まず確かめる。



新しいフロッピーディスクなら、「はい」ボタンをクリック。



人から受け取ったフロッピーディスクなら、「いいえ」ボタンをクリック。どんなパソコンで使っていたか確かめる。

## フロッピーディスクをフォーマットするには

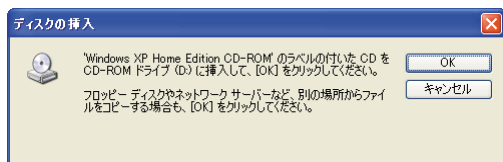
フロッピーディスクをドライブに挿入し、「マイコンピュータ」ウィンドウの「3.5 インチ FD」アイコンをクリックします。次に、「ファイル」メニューの「フォーマット」を選びます。フォーマットには、「通常のフォーマット」のほかに「クイックフォーマット」があります。新品の場合は、「通常のフォーマット」を行います。使用済みの場合は、「クイックフォーマット」もできます。「クイックフォーマット」にするとフォーマットが早く終わります。

# ドライバーなどをインストールしたら 「Windows XP Home Edition CD-ROM」のラベルの付いたCDを・・・と、表示された

「Windows XP Home Edition CD-ROM」の内容はあらかじめハードディスクにコピーしてあります

ドライバーをインストールしたり、Windowsの設定を変更すると、このメッセージが表示されることがあります。「Windows XP Home Edition CD-ROM」のラベルの付いたディスクは添付されていません。ハードディスク内のフォルダーを指定してください。

- 1 [OK] ボタンをクリックする。

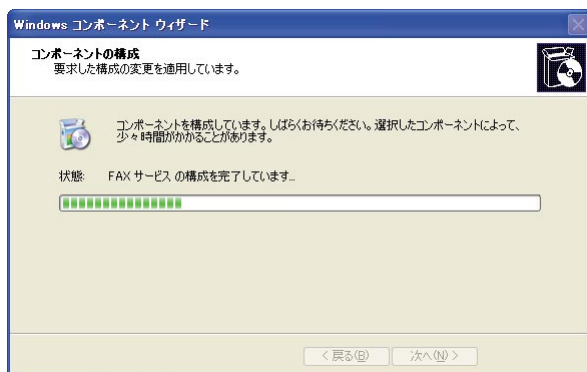


- 2 「c: ¥ Windows ¥ i386」と入力し、[OK] ボタンをクリックする。



**ヒント** ▶ 1度入力するとパスを覚えています。[コピー元]の[ ]をクリックし、該当するパスを選んでください。

- 3 ドライバーまたはWindowsプログラムのインストールが続行される。



# 異常な動作が続いて、どうしても解決しないときは

## 適切な問い合わせ先を考えましょう、購入時の状態に戻すのも一方法

パソコンがひんぱんに異常な動作をするようになり、本書やほかのマニュアルを読んでも解決できないときは、適切な問い合わせ先を考えましょう。その際には、何を行ってから異常になったのか、どのように異常なのかをできるだけ具体的にメモし、お問い合わせください。場合によっては、「一括セットアップ」を行うことで、トラブルを解決できることもあります。「一括セットアップ」とはパソコンを購入時に近い状態に戻す作業のことです。「一括セットアップ」を行うと、作成した文書ファイルや電子メールの「アドレス帳」などがすべて消去されます。大事なファイルは必ずCD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RAMやフロッピーディスクなどにコピーしておきましょう。

### パソコンが立ち上がらないときは

エラーメッセージが表示された場合は、メッセージの内容に従って対処してください。何度もエラーメッセージが表示される場合は、この後説明する「再セットアップ」を行ってください。

- ・ フロッピーディスクドライブから立ち上げている場合は、そのフロッピーディスクがWindowsの立ち上げ用のフロッピーディスクであるか、フロッピーディスクドライブに正しくセットされているかご確認ください。
- ・ フロッピーディスクドライブから立ち上げている場合は、キーボードからのキー入力ができなくなることがあります。その場合は、一度パソコンの電源を切ってから、立ち上げ直してください。
- ・ Windowsが破損していないかを確認します。「一括インストールCD」または「再セットアップDVD」から立ち上げてみます。立ち上がればハードディスクドライブ中のWindowsが破損している可能性があります。「システムの復元」または「再セットアップ」

を行ってください。

### アプリケーションが実行できない

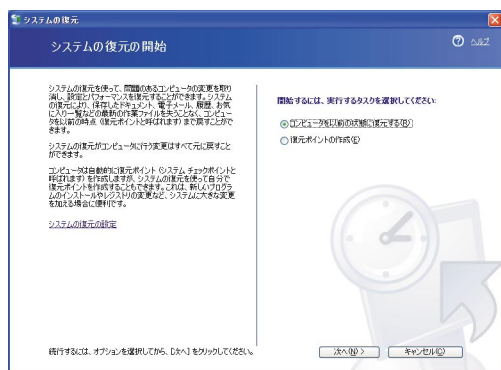
- ・ アプリケーションがWindows XPを正式にサポートしているかどうかご確認ください。
- ・ どのアプリケーションも正しく実行できなければ、Windowsが壊れているかもしれません。フロッピーディスクやその他のディスクなどに必



要なファイルのバックアップを取り、「一括セットアップ」を行ってください。

## 「システムの復元」を利用する

「システムの復元」を使えば、パソコンを正常な状態に戻すことができます。また、「システムの復元」は作成した文書ファイルや「お気に入り」などを消去することなく、破損したWindowsのファイルを復元します。



「システムの復元」を立ち上げるには、[スタート]メニューの[すべてのプログラム]の[アクセサリ] - [システムツール] - [システムの復元]をクリックします。詳しい使い方はWindowsのヘルプをご参照ください。

## 適切な問い合わせ先を考える

- ・ドライバーやアプリケーションをインストールしたあとや使用中なら そのソフトウェアの相談窓口、販売元、開発元
- ・周辺機器などを取り付けたあとや使用中なら その機器の相談窓口、販売元、開発元
- ・原因がよくわからない、そのほか お買い上げの販売店、日立 FLORA 安心コールセンター

**参照** お問い合わせ先は 3章の「お問い合わせ情報」

## 購入時に近い状態に戻す

1 『一括インストールCD』や『再セットアップDVD』を使って、購入時に近い状態に戻します。

「(1)一括インストールを行う」を選ぶと、パソコンはほぼ購入時の状態に戻ります。作成した文書ファイルなどのコピーを取り、インターネットの設定などを控えてから行ってください。

2 はじめて電源を入れたときと同じ状態で、もう一度使い始める。





# 2章

## パソコン Q & A

この章では、  
パソコン共通のトラブルをできるだけ多く集め、  
その対処方法を紹介しています。  
トラブルが起こったらまずここを一度お読みください。

## パソコンがへん!

**Q** 電源スイッチを入れたが、電源が入らない

**A** ACアダプター、電源コード(ACコード)が、正しく接続されているか確認します。

**A** パソコン以外の器具をコンセントに接続して、正常に動作するか確認します。

**A** ACアダプターのコネクタが接触不良を起こしてる可能性があります。正しく接続されているか確認します。

**A** ノートパソコンでバッテリーを使用している場合、バッテリーが正しく接続されているか確認します。

**A** ノートパソコンでバッテリーを使用している場合、バッテリーの残量は十分にあるか確認します。

**Q** エラーメッセージが表示された

**A** BIOSメニューの設定に問題がある可能性があります。BIOSメニューを開いて、ご購入時の状態に戻します。

**参照** ご購入時の状態の戻し方 『接続と準備』6章の「再セットアップについて」「BIOSの設定をご購入時の状態に戻す」

**A** プリンターや、ディスプレイ(デスクトップパソコンの場合)などの周辺機器が正しく接続されているか確認します。

**Q** パソコンが異常に熱い、煙が出た、異臭がする

**A** すぐにパソコンの電源を切るか電源ケーブルを抜きます。ご購入先かFLORA安心コールセンターにご連絡ください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

**Q** 操作していないのに、カリカリと音がする

**A** Windowsには、一定時間操作しないとき、ハードディスクを最適な状態にするプログラムを自動的に起動させる機能があります。いつも操作しているときと同じ程度の音が聞こえても、心配はありません。

**A** あまりにも大きな音がしたり、音がしだいに大きくなっていくような場合は、すぐに電源を切り、ご購入先かFLORA安心コールセンターにご連絡ください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

**Q** Windowsのセットアップの途中で電源を切ってしまった

**A** 1分程度待ってから電源を入れ直し、最初からセットアップを行ってください。

**Q** ハードウェアの検出中に画面が動かなくなってしまった

**A** ハードウェアの検出には、数分から10数分かかることがあります。あわてて電源を切らず、しばらく待ってください。

**A** 10数分以上待っても画面が変わらないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けて電源を切ります。1分程度待ってから電源を入れ直し、セットアップを行ってください。

## Q パソコンに飲み物をこぼしてしまった

A すぐにWindowsを終了し、やわらかな布などで拭きとります。水分が十分に乾いてからご使用ください。キーボードやマウスに飲み物をこぼした場合も、同様にしてください。正常に動かない場合には、ご購入先かFLORA安心コールセンターにご連絡ください。

## Q システムスタンバイ状態から元に戻らない

A アプリケーションや周辺機器がシステムスタンバイ機能に対応していません。システムスタンバイ機能をオフにしてお使いください。

**参照** 節電機能の設定変更について 電子マニュアル『パソコン応用』2章の「消費電力を節約する」

## Q 添付品に足りないものがあった

A もう一度『接続と準備』1. 同梱品を確認しようで添付品を確認します。それでも足りないときは、お買い上げの販売店やWebコンタクトセンターにご連絡ください。

## ディスプレイの表示がおかしい

### Q 画面が真っ暗で、何も表示されない

A デスクトップパソコンの場合、パソコンとディスプレイの電源を切り、ディスプレイの電源を入れたあとで、パソコンの電源を入れます。

A ディスプレイの節電機能が働いています。[Shift]キーを押す、マウスを動かす、ポインティングパッドにタッチする、などの操作を行います。

A システムスタンバイまたはシステム休止状態です。電源スイッチを4秒未満押しします。

A 一度電源を切り、ディスプレイケーブルが正しく接続されているか確認します。

A デスクトップパソコンの場合や、ノートパソコンで外付けディスプレイを使用している場合、ディスプレイのコントラスト調節ボリュームを明るくします。

A デスクトップパソコンの場合は、ディスプレイの明るさ調節ボリュームで明るさを設定します。ノートパソコンの場合は、キーボードの[Fn]キーを押しながら、所定のキーを押して明るさを設定します。

A 一度電源を切り、ディスプレイのドライバーを再インストールします。

**参照** 再インストールの方法について 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」

A デスクトップパソコンの場合、ACアダプターをディスプレイに正しく接続します。ノートパソコンの場合、ACアダプターをパソコンに正しく接続します。

A 電源コードを、ACアダプターとコンセントの両方に正しく接続します。

A デスクトップパソコンの場合、ディスプレイの取扱説明書を参照し、異常がないか確認します。

A ノートパソコンでバッテリーを電源として使用している場合、電源ランプが点灯しているか確認します。消灯しているときは、バッテリーの残量がなくなりシステムスタンバイ状態になっています。ACアダプターを接続してからパソコンを復帰させます。

## Q 表示色がおかしい、色の数が少ない

- A** プリンター、パソコンの順に電源を入れると、ディスプレイの表示色がおかしくなることがあります。そのときは両方の電源を切り、パソコン、プリンターの順に電源を入れ直します。
- A** 画面の表示色を正しく設定します。デスクトップの背景部分でマウスを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。[画面プロパティ]の[設定]タブをクリックして、画面の色を調整します。
- A** 液晶ディスプレイの場合、CRTディスプレイに比べ実際に表示できる画面の色の数に制限があります。
- A** ディスプレイのコントラスト調整で画面の色を調整します。

## Q 表示がちらついたり色がずれたりする

- A** テレビなど、近くに強い磁気を発生するものがあります。ディスプレイから離してご使用ください。
- A** ケーブルを正しく接続し直します。
- A** 明るさなどを正しく設定します。
- A** アプリケーションによっては、表示する画面の色の数や画面の解像度を指定している場合があります。
- A** CRT ディスプレイを接続してお使いの場合、パソコンの使用中に、パソコンやCRTディスプレイの位置を変えると、CRTディスプレイに磁気の影響で色ムラが発生することがあります。一度電源を切り、30分以上時間を置いてから再び使用します。
- A** パソコンの周囲に、電源の入っている精密機器を置いている場合は、移動します。

## Q ディスプレイの表示が読めない、または歪んでいる

- A** デスクトップパソコンの場合や、ノートパソコンで外付けディスプレイを使用している場合、ディスプレイのリフレッシュレートの設定が、ディスプレイの仕様を超えている可能性があります。リフレッシュレートを設定し直します。

**参照** 設定について 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「リフレッシュレートの設定」または、ディスプレイ付属のマニュアル

- A** ゲーム実行中に表示がおかしくなる場合は、次の方法で回避できることがあります。
- ・ ゲームのオプション画面などで表示設定を調整する
  - ・ グラフィックアクセラレーターを[なし]に設定する
- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[システム]アイコンをダブルクリックする。
  - 2 [詳細設定]タブの「パフォーマンス」ボックスの[設定]ボタンをクリックする。
  - 3 [パフォーマンスを優先する]を選択する。
  - 4 [OK]、[OK]の順にクリックしてダイアログを閉じ、Windowsを立ち上げ直す。
- 本設定を行うと、視覚効果の設定がすべて無効になります。

## Q カーソルだけが表示される

- A** 原因が特定できません。お問い合わせください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

**Q** 何も表示されず、ビープ音が2回以上鳴る

**A** 主電源を切り5秒以上待ってから、主電源を入れ、立ち上げ直してください。それでも立ち上がらない場合は、故障の可能性がります。お問い合わせください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

**Q** 電源が切れているのに、何か表示されている

**A** 故障の可能性がります。お問い合わせください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

## キーボードの動作がおかしい

**Q** キーを押しても入力できない

**A** [Num Lock]キーまたは[Fn] + [Num Lock]キーを押します。この設定が行われていないと、テンキーで数字の入力ができません。

**A** 大容量のデータのコピー中であったり、ダイアログボックスを開いてマウスで設定している場合は、一時的にキーボードからの入力を受け付けなくなります。

**A** キーを組み合わせないと、入力できない文字がります。

**A** 特殊な文字は、文字一覧から選択してください。

**A** USB キーボードやマウスは、システムスタンバイ状態などから復帰したときに、動かなくなることがあります。この場合は、USB コネクタを抜き差ししてください。

**Q** 不正な文字が表示されることがある

**A** コマンドプロンプト実行中は、キーボード上部のCD 操作キーやボリューム操作キーを押さないでください。不正な文字が表示されることがあります。

**Q** 正しい文字入力ができない/ワンタッチキーが動作しない

**A** デスクトップパソコンの場合、キーボードドライバーの更新を行います。

1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択する。

2 [システム]アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア]タブをクリックする。

3 [ デバイスマネージャ ] ボタンをクリックする。

4 リストの[ キーボード ] をダブルクリックし、[HID Keyboard(Japanese 106/109 key)]のプロパティーを開いて、[ドライバ]タブに[HID Keyboard (Japanese 106/109 key)]と表示されているか確認する。

5 表示されていない場合は[ドライバの更新]ボタンをクリックして、[ハードウェアの更新ウィザード]を立ち上げ、[HID Keyboard(Japanese 106/109 key)]を選ぶ。

6 メッセージに従ってWindowsを立ち上げ直すと、キーボードの種類が変更され、入力できるようになる。

**A** 14型ノートパソコンの場合、次の手順でキーボードドライバーの更新を行います。

1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択する。

2 [システム]アイコンをダブルクリックして開き、[ハードウェア]タブをクリックする。

- 3 [ デバイスマネージャ ] ボタンをクリックする。
- 4 リストの [ キーボード ] をダブルクリックし、「日本語 PS/2 キーボード ( 106/109キー )」のプロパティーを開いて、[ ドライバ ] タブに「日本語 PS/2 キーボード ( 106/109キー )」と表示されているか確認する。
- 5 違っている場合は、[ ドライバの更新 ] ボタンをクリックして [ ハードウェアの更新ウィザード ] を立ち上げ、「日本語 PS/2 キーボード ( 106/109キー )」を選ぶ。
- 6 メッセージに従ってWindowsを立ち上げ直すと、キーボードの種類が変更され、入力できるようになる。

**A** 15型ノートパソコンの場合、次の手順でキーボードドライバーの更新を行います。

- 1 [ スタート ] ボタン - [ コントロールパネル ] を選択する。
- 2 [ システム ] アイコンをダブルクリックして開き、[ ハードウェア ] タブをクリックする。
- 3 [ デバイスマネージャ ] ボタンをクリックする。
- 4 リストの [ キーボード ] をダブルクリックし、「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」のプロパティーを開いて、[ ドライバ ] タブに「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」と表示されているか確認する。
- 5 違っている場合は、[ ドライバの更新 ] ボタンをクリックして [ ハードウェアの更新ウィザード ] を立ち上げ、「101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2キーボード」を選ぶ。

- 6 メッセージに従ってWindowsを立ち上げ直すと、キーボードの種類が変更され、入力できるようになる。

**A** ワンタッチキーを設定します。

**参照** ワンタッチキーの設定方法 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「応用操作」 「ワンタッチキーを設定する」

**Q** キーボード左上の [ Power ] ボタンを押しても電源が入らない

**A** デスクトップパソコンの場合、キーボード左上にある [ Power ] ボタンは、電源を切るためのボタンです。Windowsが立ち上がっているときに押すと、Windowsが終了します。電源が入っていない状態で [ Power ] ボタンを押しても、電源は入りません。

## マウスの動きがヘン!

**Q** マウスカーソルの動きが遅い

**A** マウスカーソルの速度を速くします。

- 1 [ スタート ] ボタン - [ コントロールパネル ] を選択し、[ マウス ] アイコンをダブルクリックする。
- 2 [ 動作 ] タブ、または [ ポインタオプション ] タブをクリックし、[ 速度 ]、または [ ポインタの速度を選択する ] でマウスカーソルの動きを速くする。





## Q マウスカーソルが動かない

A マウスケーブルを正しく接続します。

**参照** マウスケーブルの接続について 『接続と準備』の「2. 接続しよう」「パソコンを接続しよう」(デスクトップパソコンの場合)

A そのまま、しばらく待ってください。アプリケーションの動作中、通信中や印刷中にもマウスが動かないことがあります。

A Windows か、実行中のアプリケーションに何らかの異常が発生しています。[Ctrl]キーと[Alt]キーを押したまま、[Delete]キーを押して離すと、[プログラムの強制終了]ダイアログボックスが開きます。異常が発生していると思われるプログラムを選び、[終了]ボタンをクリックします。

**参照** プログラムの強制終了について 1章の「ソフトが動かなくなりました!あわてない、あわてない」

A USB マウスやキーボードは、システムスタンバイ状態などから復帰したときに、動かなくなることがあります。この場合は、USB コネクタを抜き差ししてください。

A [マウスのプロパティ]の[ボタン]タブで、各ボタンに割り当て可能な機能のうち、「ハイパーメニュー」、「スクロールバー(横)」、「スクロールバー(縦)」、「最小化を元に戻す」、「サイバージャンプ」、「ハイパージャンプ」の一部機能は、アプリケーションによって動作しないことがあります。

A セーフモードで立ち上げると、マウスが動かなくなることがあります。キーボードのキーで操作するか、パソコンを立ち上げ直して、通常モードでお使いください。

## Q マウスカーソルが動かしたい方に動かず、突然移動する

A AC電源に問題があるかもしれません。系統の違うACコンセントに変更するか、ノイズフィルター付きOAタップを使用します。

## Q マウスがなめらかに動かない

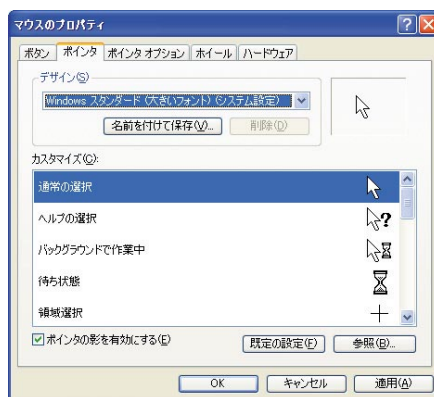
A マウスの内部や内部のローラーに異物が入っているか、マウスのボールが汚れています。汚れていた場合はボールを取り出し、中性洗剤を薄めた水で洗います。

**参照** マウスのボールのお手入れについて 電子マニュアル『パソコン応用』5章の「マウスのお手入れ」(デスクトップパソコンの場合)

## Q マウスカーソルが小さい

A マウスカーソルのサイズを大きくします。

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[マウス]アイコンをダブルクリックする。
- 2 [ポインタ]タブをクリックする。
- 3 [デザイン]のリストから[Windows スタANDARD (大きいフォント) (システム設定)]を選択する。



4 [OK]ボタンをクリックする。

## 音が聞こえない、録音できない

### Q スピーカーから音が出ない

**A** デスクトップパソコンの場合、スピーカーのプラグをパソコンに正しく接続します。スピーカー出力コネクタに、スピーカーのプラグが正しく接続されているか確認します。

**参照** スピーカーの接続について 『接続と準備』「1. 接続しよう」の「パソコンを接続しよう」

**A** スピーカーの音量が低くなっています。ボリュームコントロールで音量を調整します。

**参照** 音量の調整について 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「音量を調整する」

**A** 再生しようとする音声ファイルの録音レベルが低くなっています。適切な録音レベルに調整して録音してください。

**A** サウンドドライバーを正常に動作させます。

1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[システム]アイコンをダブルクリックする。

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。

3 リストの[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]のドライバーに「？」マークが付いていないか確認する。「？」が付いていた場合は、ドライバーを再インストールする。

**参照** サウンドドライバーの再インストールについて 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「ドライバー、ユーティリティのセットアップ」「サウンドドライバー」

### Q マイクで録音できない

**A** パソコンの入力端子とマイクのインピーダンスが合わないと言量が小さくなる場合があります。

**参照** マイクのインピーダンスについて マイク付属のマニュアル

**A** マイクのプラグが、パソコンに正しく接続されていません。マイクコネクタにマイクのプラグが正しく接続されているか確認します。

**参照** マイクの接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

**A** マイクの録音レベルが低くなっています。[ボリュームコントロール]または[Volume Control]でマイクの録音レベルを適切に調整して録音します。

**参照** 録音レベルの調整について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「マイクを使って録音する」

### Q 音声認識アプリケーションのマイク調整が適切に設定できない

**A** マイクの感度設定が不適切です。[マスタ音量]でマイクの感度を調整します。

**参照** 録音レベルの調整について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「マイクを使って録音する」

### Q タスクバーに音量のアイコンが表示されない

**A** 音量のアイコンをタスクバーに表示する設定にします。

1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[サウンドとオーディオデバイス]アイコンをダブルクリックする。

- 2 [音量]タブをクリックする。[タスクバーに音量アイコンを配置する]に、チェックマークがついているか確認する。チェックマークが付いている場合は、Windowsを立ち上げ直す。



**Q** 音声が入り切れたり、繰り返したりする

**A** ディスクに読み書きしています。ディスクに読み書きしている状態で、再生時間の長い音を再生すると、音が入り切れたり、繰り返したりする場合がありますが問題はありません。Windowsの起動音が入り切れる場合は、[コントロールパネル] - [サウンドとオーディオデバイス]の[サウンド]タブで、「Windowsの起動」を選択して[サウンド]の一覧で再生時間の短い音を設定するか、「なし」に設定します。

**A** 録音する場合には、[コントロールパネル] - [サウンドとオーディオデバイス]の[オーディオ]タブで、[録音]のデバイスを選択してください。

**A** ゲーム実行中に音が入り切れたりする場合は、次の手順でハードウェアアクセラレーターを「なし」に設定すると、回避できることがあります。

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[サウンドとオーディオデバイス]アイコンをダブルクリックする。
- 2 [オーディオ]タブをクリックする。
- 3 [音の再生]の[詳細設定]ボタンをクリックする。
- 4 [パフォーマンス]タブをクリックする。

- 5 ハードウェアアクセラレーターを「なし」に設定する。
- 6 [OK]、[OK]の順にクリックし、Windowsを立ち上げ直す。



ヘッドホンをつないでも外付けスピーカーから音が出る

**A** 外付けスピーカーをライン出力コネクタに接続していると、ヘッドホンと外付けスピーカーの両方から音がでます。ヘッドホンをつないだときに外付けスピーカーの音を消したい場合は、外付けスピーカーをスピーカー出力コネクタに接続してください。



二ヶ国語放送の再生時、主音声と副音声が入り設定通り再生されない

**A** 番組を録画する場合、音声は予約 / 録画する際に設定した音声モードで録画されます。録画した番組を再生するときに音声設定を変更しても、聞こえる音声は変わりません。二ヶ国語放送の場合も、録画ファイル内に主音声 / 副音声の両方の音声データが含まれているわけではなく、録画の際に設定された音声モードのデータのみが含まれます。そのため、再生時に音声設定を変更しても、聞こえる音声は変わりません。

## プリンターで印刷できない



プリンターが使えない

**A** [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[プリンタとFAX]アイコンをダブルクリックします。使用するプリンターのアイコンがなければ、ドライバーをインストールします。

参照

ドライバーのインストールについて  
プリンター付属のマニュアル

**A** プリンターケーブル(USBケーブル)を正しく接続します。

**参照** プリンターの接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「プリンターを接続する」または、「USB機器を接続する」

**A** プリンターの電源を入れます。

**A** パソコンとプリンターの電源を切り、プリンターの電源を入れたあとで、パソコンの電源を入れます。

**A** プリンターに異物や用紙がつまっています。プリンターの表示ランプを確認します。

**A** プリンターケーブル(USBケーブル)が絡んでいます。信号妨害のないように、ケーブルどうしはできるだけ離しておきます。

**A** 使用するプリンターのアイコンにチェックマークが付いているか確認します。チェックマークが付いていない場合は、プリンターのアイコンを右クリックして、[通常使うプリンタに設定]をクリックします。

## Q 正しくプリントできない

**A** 正しいプリンターを選びます。アプリケーションの[ファイル]-[印刷]ダイアログボックスなどで、正しいプリンターが選ばれているか確認します。

**A** プリンターをテストして、正しく印字できるか確認します。[スタート]ボタン-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとFAX]アイコンをダブルクリックします。目的のプリンターのプロパティを開き、[全般]タブの[テストページの印刷]ボタンをクリックして、テスト結果から原因を推測して対処します。

**参照** プリンターのテスト方法について プリンター付属のマニュアル

## Q 途中までしか印刷しない

**A** プリンターのインクがなくなっていないかを確認します。

**参照** インク残量の確認方法について プリンター付属のマニュアル

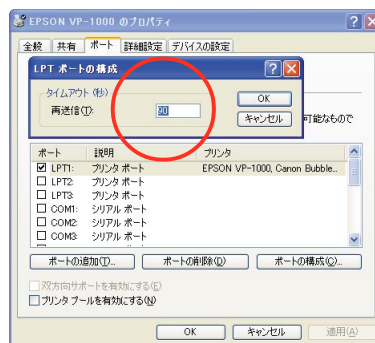
**A** 用紙がなくなっていないかを確認します。

**A** タイムアウト時間を長く設定します。

1 [スタート]ボタン-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとFAX]アイコンをダブルクリックする。

2 使用するプリンターを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

3 [ポート]タブをクリックし、[ポートの構成]ボタンをクリックして、[再送信]の秒数を増やす。



## フロッピーディスクの異常

機種によっては、フロッピーディスクドライブが標準で付いていない場合があります。

## Q フロッピーディスクにデータが書き込めない

**A** フロッピーディスクのライトプロテクトノッチが、「書き込み禁止」側に入っています。「書き込み可能」側に移動します。

**参照** 書き込み禁止について 『パソコン入門』の「1. パソコンを始めよう」 「使えるディスク」

**A** フロッピーディスクの残り容量が不足しています。[マイ コンピュータ]の[3.5インチ FD]のプロパティを開き、フロッピーディスクの残り容量が不足していないか確認します。

**Q** フロッピーディスクからデータが読み込めない

**A** このパソコンで読み込めない種類のフロッピーディスクです。読み込めるのは、720KB/1.44MBのフロッピーディスクです。

**A** Macintoshでフォーマットされたフロッピーディスクは使用できません。

**A** 弊社のパソコン以外でフォーマットしたフロッピーディスクだと、読み込めないことがあります。

**A** フロッピーディスクがフォーマットされていません。新しいフロッピーディスクには、そのままでは使用できないものもあります。

**Q** フロッピーディスクが認識されない

**A** フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに正しくセットします。フロッピーディスクドライブの中に引っかかっている場合は、フロッピーディスクを軽く押します。

**A** 別のフロッピーディスクを読み込んでみて、正しく読み込める場合は、そのフロッピーディスクが壊れています。フロッピーディスクは直射日光や磁気を発するもの、高温を避け、湿気・水にさらされないように保管します。

## CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM/R、DVD-ROM&CD-R/RWドライブ

**ヒント** ▶ ドライブの種類は、機種により異なります。

**Q** ディスクを読み込めない

**A** ディスクが規格に合っていますか？ Macintosh 用ではありませんか？

**A** ディスクに汚れや傷がついていないか確認します。

**A** このパソコンに付属のCD-ROMをセットし、読み込めるか確認します。読み込めない場合は、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM/R、DVD-ROM&CD-R/RWドライブ内部のピックアップレンズが汚れている可能性があります。クリーニングができるドライブの場合、ピックアップレンズをクリーニングしてください。

**参照** ▶ ピックアップレンズのクリーニングについて 電子マニュアル『パソコン応用』5章の「ディスクドライブのお手入れ」

**A** ディスクを入れたままWindowsを立ち上げると、ディスクが認識されない場合があります。ディスクを入れ直してください。

**Q** 使用できるDVD-RAM/Rメディアや保存できるデータのタイプがわからない

**A** DVD-RAMとDVD-Rでは、次のような違いがあります。

- DVD-RAM : 記憶容量が片面2.6/両面5.2GBの8cmメディア、片面4.7/両面9.4GBの12cmメディアが使用可能。DVDビデオレコーディングデータ、PCデータとも書き込み可能。使用前にフォーマットする必要があり、データの書き替えが可能。
- DVD-R : 記憶容量3.95GBタイプ(読み込みのみ)、および4.7GBタイプ(読み込み、書き込みとも可能)のメディアが使用可能。DVDビデオレコーディングデータ、PCデータの書き込み可能。

## NetMDドライブ

**Q** NetMDディスクにデータが書き込めない

**A** NetMDディスクのライトプロテクトノッチが、「書き込み禁止」側に入っています。「書き込み可能」側に移動します。

**A** NetMDディスクの残り容量が不足しています。NetMDディスクの残り容量が不足していないか確認します。

**Q** NetMDディスクからデータが読み込めない

**A** NetMD専用のアプリケーション「BeatJam for Hitachi」でのみ読み込めます。それ以外からは読み込めません。

## ハードディスクのトラブル

**Q** ハードディスクに不良セクターがある

**A** ハードディスクは、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。ハードディスクのエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、ハードディスクの不良ではありません。取り付けられている内蔵ハードディスクの容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次の通りです。内蔵ハードディスクが複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。なお、\*は『パソコン応用』の「技術情報」のハードディスクの欄をご参照ください。

内蔵ハードディスク容量 : \* GB

全ディスク容量 : \* × 1000000000 バイト以上

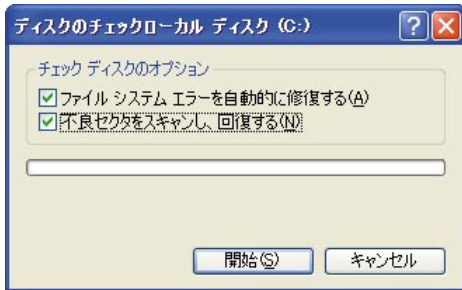
**Q** HDDランプが点灯したままになっている

**A** ハードディスク(以下、HDD)が壊れている可能性があります。プログラムを強制的に終了させ、[チェックディスクツール]を実行して、HDDにエラーがないかチェックします。[チェックディスクツール]は、次の手順で行います。

1 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択する。

2 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

- 3 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。
- 4 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。



- 5 メッセージが表示される場合は、[はい]ボタンをクリックしたあと、パソコンを立ち上げ直す。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。

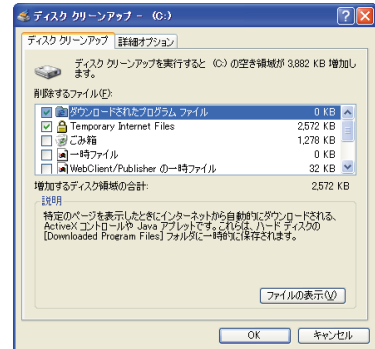
**参照** プログラムの強制終了について 1章の「ソフトが動かなくなっちゃった!あわてない、あわてない」



ハードディスクの空き容量が少なくなった

- A ディスククリーンアップを実行してインターネット一時ファイルなどを削除します。
- 1 [スタート]ボタン - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [ディスククリーンアップ]を選択する。[ドライブの選択]が表示される。

- 2 [ディスククリーンアップ]タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン/オフし、[OK]ボタンをクリックする。



- 3 確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックする。

- A 不要なファイルを削除します。
- A 不要なアプリケーションを削除します。

**参照** アプリケーションの削除方法 『接続と準備』6章の「再セットアップについて」「セットアップの前に」「プログラムの追加と削除」による削除

- A ハードディスクを増設し、ファイルを移動します。
- A CD-R/RW、DVD-RAM/Rドライブなどにディスクをセットし、ファイルを移動します。

**参照** CD-R/RW へのファイル移動について 『パソコン入門』の「オリジナルCD・MDを作成しよう」「CD-R/RW にデータをバックアップする」



1台のハードディスクに、複数のドライブを作りたい

- A 再セットアップの際に複数の領域(パーティション)を作成し、フォーマットすると、複数のドライブができます。

**参照** 複数の領域の作成について 電子マニュアル『パソコン応用』4章の「パーティションの設定」

**重要** パーティションを作成すると、HDD内のデータはすべて削除されます。

# アクセスランプ

機種によって標準で実装されているドライブは異なります。



FDDランプが点灯したままになっている

**A** 入っているFDを抜き出し、別のFDをFDDにセットします。[マイコンピュータ]の[3.5インチFD]アイコンをダブルクリックしてFDを読み直せるか確認します。読めない場合は、FDDが壊れている可能性があります。

**A** アプリケーションを実行しようとしている場合は、そのアプリケーションが壊れている可能性があります。別のアプリケーションを実行してみてください。



CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM/R、DVD-ROM&CD-R/RWランプが点灯したままになっている

**A** ディスクが壊れている可能性があります。別のCD-ROMをドライブに入れ、[マイコンピュータ]ウィンドウ内のCD-R/RWドライブのアイコンをダブルクリックして、CD-ROMを読み直します。



NetMDランプが点灯したままになっている

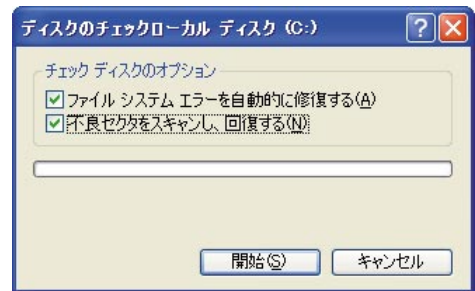
**A** NetMDディスクが壊れている可能性があります。別のNetMDディスクをドライブに入れ、[マイコンピュータ]ウィンドウ内のNetMDドライブのアイコンをダブルクリックして、NetMDディスクを読み直します。



HDDランプが点灯したままになっている

**A** ハードディスク(以下、HDD)が壊れている可能性があります。プログラムを強制的に終了させ、[チェックディスクツール]を実行して、HDDにエラーがないかチェックします。[チェックディスクツール]は、次の手順で行います。

- 1 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択する。
- 2 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
- 3 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。
- 4 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。



- 5 メッセージが表示される場合は、[はい]ボタンをクリックしたあと、パソコンを立ち上げ直す。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。

**参照** プログラムの強制終了について 1章の「ソフトが動かなくなっちゃった!あわてない、あわてない」



ファイルベイランプが点灯したままになっている(ノートパソコンの場合)

**A** CD-ROMが壊れている可能性があります。別のCD-ROMをドライブに入れ、[マイコンピュータ]ウィンドウ内のCD-R/RWドライブのアイコンをダブルクリックして、CD-ROMを読み直します。



## バッテリーのトラブル (ノートパソコンの場合)

**Q** ビープ音が鳴る、またはパソコンの電源ランプがオレンジ色に点灯・点滅する

**A** バッテリーの容量が残りわずかです。バッテリーを充電してください。

**参照** バッテリーの充電について 電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの使い方」

**Q** 満充電にしてもすぐ消耗してしまう

**A** 完全放電と完全充電を数回繰り返します。それでも直らないときは、バッテリーパックの寿命です。バッテリーパックは約300回充放電を行うと寿命になります。なお、CD-ROMを連続再生するなど負担の大きい使い方をすると、寿命が著しく低下することがあります。

## ポインティングパッドのトラブル (ノートパソコンの場合)

**Q** ポインティングパッドが使えない

**A** PS/2仕様のマウスを接続している場合は、取り外します。PS/2仕様のマウスを接続したまま、ポインティングパッドは使用できません。

## その他の周辺機器のトラブル

**Q** ドライバーがフロッピーディスクでの提供なので、組み込めない

**A** フロッピーディスクドライブのないパソコンでは、フロッピーディスクは使えません。別売のフロッピーディスク装置を購入するか、周辺機器メーカーにお問い合わせください。ホームページなどからドライバーを入手できる場合もあります。

**Q** USB-FDDにアクセスすると、システムが不安定になる

**A** 市販のUSB-FDDをお使いの場合、コマンドプロンプトでは、フロッピーディスクにアクセスしないでください。組み合わせによっては、システムが不安定になることがあります。

**A** ほかのUSB装置を外して、USB-HUB(AC付き)を使用することで、現象を回避できる場合があります。

**Q** 取り付けたあと、周辺機器が使えない

**A** いったん周辺機器を取り外し、正しく取り付けます。

**参照** 周辺機器の接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「パソコンを拡張する」

**A** パソコンと周辺機器の電源を切り、周辺機器の電源を入れた後でパソコンの電源を入れます。

**A** ケーブルなどを正しく接続します。

**参照** 周辺機器の接続について 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「パソコンを拡張する」

**A** 周辺機器のドライバーの中には、取り外したあとセーフモードでドライバーを削除しなければならない場合があります。

**A** 周辺機器の取扱説明書をご参照ください。



**Q** PCカードや拡張ボードの動作が不安定だ

**A** PCカードまたは拡張ボードが抜けかかっています。一度PCカードまたは拡張ボードをパソコンから取り外し、正しく取り付け直します。

**参照** PCカードの取り付けについて 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「PCカードを使う」

**参照** 拡張ボードの取り付けについて 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「拡張ボードを取り付ける」(デスクトップパソコンの場合)

**A** LANカードなど通信用のPCカードを接続し、そのカードが節電機能を制限している場合は、節電機能が働かないように設定します。

**参照** 設定方法について 電子マニュアル『パソコン応用』2章の「節電機能を使わないようにするとき」



**Q** 増設したメモリー容量が増えていない、起動時に表示されるメモリー容量が異常である

**A** メモリーボードを正しく取り付けます。

**参照** メモリーボードの取り付けについて 電子マニュアル『パソコン応用』3章の「メモリーボードを取り付ける」

**A** [スタート]ボタン-[マイコンピュータ]を選択します。[システムのタスク]の[システム情報を表示する]をクリックし、表示される[システムのプロパティ]画面の[全般]タブをクリックして、メモリー容量を確認します。ただし[システムのプロパティ]で表示されるメモリー容量は、実際の容量よりも若干少なく表示されます。



**Q** LANが接続できない

**A** 接続するHUBと通信モード(速度や全二重/半二重の設定)を合わせます。接続するHUBにオートネゴシエーション機能がない場合は、10BASE-T/100BASE-TXなどの設定を正しく合わせます。

**A** 接続しているHUBの電源を入れます。

**A** サーバーが立ち上がっていることを確認します。

**A** LANケーブルの種類を確認します。LANケーブルには、10BASE用と100BASE用があります。さらに、クロスケーブルとストレートケーブルに分けられます。

**A** LANケーブルの長さを確認します。LANケーブルの長さには、制限があります。

**参照** LANケーブルの長さについて 各種LAN機器に付属のマニュアル



**Q** i.LINKでi.LINK機器を接続しても映像が取り込めない

**A** i.LINKは、規定内容の細部がメーカーごとに若干異なっています。そのため、メーカーや機種によってはi.LINKで接続しても機器を認識せず、MotionDV STUDIOやMegavi DV2で映像を取り込めない場合があります。Priusでの動作が確認されているi.LINK機器については、FLORA安心コールセンターにお問い合わせいただくか、PriusWorldサポートページでご確認ください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

# システムの動作がおかしい



Windowsが立ち上がらない

**A** フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていないか確認します。

**A** セーフモードで立ち上げ、チェックディスクツールを実行します。

1 パソコンの電源を入れ、起動画面が表示されたらすぐに、アラーム音が鳴るまで[F8]キーを押す。

2 「セーフモード」を選択し、[Enter]キーを押す。

3 「Microsoft Windows XP Home Edition」を選択し、[Enter]キーを押す。

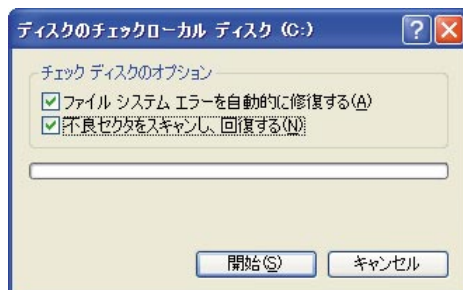
4 ユーザーを選択する画面が表示されたら「Administrator」を選択する。セーフモードで起動するメッセージが表示されるので、[はい]ボタンをクリックする。

5 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択する。

6 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

7 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。

8 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。



9 [OK]ボタンをクリックする。

10 Windowsを立ち上げ直す。



Windowsやアプリケーションが終了できない

**A** [Ctrl]と[Alt]キーを押したまま[Delete]キーを押し、Windowsまたは終了できないアプリケーションを強制的に終了させます。

**参照** 強制終了について 1章の「ソフトが動かなくなってしまった!あわてない、あわてない」

**A** 決まったアプリケーションを使用しているときに起きるときは、そのアプリケーションを削除し、再インストールします。

**A** 電源スイッチを4秒以上押し続けて電源を切ってください。

**A** フロッピーディスクからWindowsが立ち上がらないときは、フロッピーディスクがドライブに正しくセットされているか、または本パソコン用の起動ディスクかどうか、ご確認ください。

**A** Windowsを再セットアップします。

**参照** 再セットアップについて 『接続と準備』6章の「再セットアップについて」



BIOSメニューの設定を変更したら、正しく動作しなくなった

**A** BIOSメニューの設定値を出荷時の状態に戻します。増設した拡張ボードがある場合は取り外し、BIOSメニューで、設定値を出荷時の状態に戻します。

**参照** 出荷時の設定値の戻し方 『接続と準備』6章の「再セットアップについて」 「BIOSの設定をご購入時の状態に戻す」



「CMOS Checksum Error」などと表示される

**A** パソコン内部に設置されているリチウム電池が消耗しています。お問い合わせの上、リチウム電池の交換を依頼します。お客様自身で交換することはできません。なお、リチウム電池を取り外すと、メモリーに入っているBIOSメニューで設定した情報が消えます。設定内容はあらかじめ控えておいてください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」



立ち上げ時、ピーとって立ち上がらない

**A** キーボードの上に物が乗っているなど、キーを押し続けた状態になっています。物を取り除いてください。



キーボードなどを操作しても画面の表示が変わらない

**A** [Ctrl]キーと[Alt]キーを押したまま[Delete]キーを押し、Windowsを立ち上げ直します。

**参照** Windowsを立ち上げ直す方法について 1章の「ソフトが動かなくなってしまう! あわてない、あわてない」



ドライブCの不要なファイルを削除して空き容量を増やします。



**A** 決まったアプリケーションを使用しているときに起きるときは、そのアプリケーションを削除し、再インストールします。



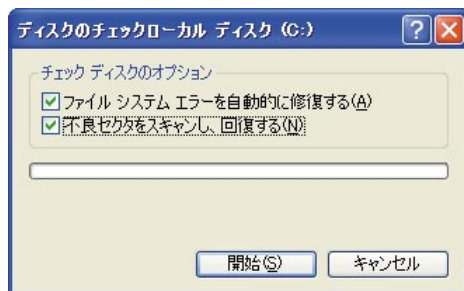
**A** ハードディスクを修復します。

1 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択する。

2 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。

3 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。

4 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。



5 [ファイルシステムエラーを自動的にメッセージが表示される場合は、[はい]ボタンをクリックしたあと、パソコンを立ち上げ直す。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。



電源を入れたら「Checking file system on C:」と表示された



**A** ドライブのエラーをチェックするためにチェックディスクツールが立ち上がっています。数分で終了するので、終了するまではパソコンを操作したり、電源を切ったりせずにそのまま待ちます。

**Q** Windowsを立ち上げるたびにチェックディスクツールが実行される

**A** 付属や市販のウイルスチェックソフトでウイルスチェックします。

**A** Windowsを再セットアップします。

**参照** 再セットアップについて 『接続と準備』6章の「再セットアップについて」「ご購入時の状態に戻すには」

**Q** アプリケーションが立ち上がらない

**A** ショートカットのプロパティで設定する[実行時の大きさ]が「最小化」になっているため、タスクバーにアプリケーションが表示されています。タスクバーのアプリケーションをクリックしてウィンドウを開きます。アプリケーションを通常のウィンドウで起動するには、次のようにします。

- 1 アプリケーションのショートカットを右クリックし、[プロパティ]を選択する。
- 2 [ショートカット]タブをクリックし、[実行時の大きさ]で[通常のウィンドウ]を選択する。



**A** アプリケーションを削除して再インストールします。

**A** ハードディスクの空き容量を増やします。

**Q** アプリケーションのインストール時、バージョン競合のメッセージが表示された

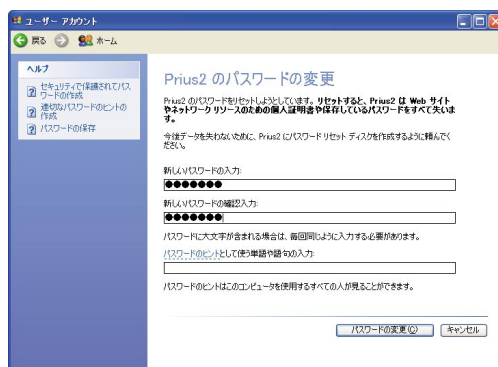
**A** 通常は、[はい]ボタンをクリックして新しいファイルを使用します。アプリケーションによって個別に指示がある場合は、その指示に従います。

**Q** Windowsのパスワードを忘れてしまった

**A** ログオン時に[?]ボタンをクリックし、パスワードのヒントを表示させて、パスワードを思い出します。

**A** 管理者アカウントを持つユーザーに、自分のパスワードを変更してもらいます。

- 1 管理者アカウントを持つユーザーでログインする。
- 2 [スタート]ボタン-[コントロールパネル]を選択し、[ユーザーアカウント]アイコンをダブルクリックする。
- 3 パスワードを忘れてしまったユーザーのアイコンをクリックする。
- 4 [パスワードを変更する]をクリックし、新しいパスワードを設定する。



**5** 自分のユーザー名と新しいパスワードでログオン直す。

**Q** コマンドプロンプト画面が全画面表示になってしまった

**A** [Alt]キーを押したまま[Enter]キーを押します。

**Q** 時計が遅れる、または進む

**A** Windows では、時計に少しずつ遅れや進みが生じます。目立つときは、[日付と時刻のプロパティ]で変更します。この操作は、コンピュータの管理者しか行えません。

**参照** 『パソコン入門』の「2. ウィンドウズとデスクトップを使おう」「タスクバーを使う」

**A** パソコンのリチウム電池が消耗すると、パソコンの時計が遅れたり、BIOS メニューの設定が正しく表示されなくなります。また、「CMOS Checksum Error」が繰り返し表示されます。このようなときは、リチウム電池を交換してください。リチウム電池の寿命は約5年です。使用方法によっては1年未満のこともあります。交換する場合はお問い合わせ先までご連絡ください。お客様自身では交換できません。なお、リチウム電池を取り外すとメモリーに入っているBIOSメニューで設定した情報が消えます。設定内容はあらかじめ控えておいてください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

**A** LAN 経由でインターネットに接続している場合、またはLANのタイムサーバーをお使いの場合は、時計精度がマニュアルに記載されている誤差よりも大きくなる場合があります。お客様のご使用状況に合わせて、次のように対応ください。

- ・ファイアウォールの設定により、インターネットタイムサーバーと同期がとれていない場合があります。システム管理者にご確認ください。

- ・タイムサーバーをお使いの場合は、[コントロールパネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション]で、タイムサーバーを変更してください。

**参照** タイムサーバーの設定方法 『ヘルプとサポート』の「インターネット時刻」

**A** インターネットに接続していない場合は、弊社にお問い合わせください。

## デスクトップの表示がヘン!

**Q** おかしな文字が表示される

**A** Windows やアプリケーションを正しくインストールします。各ソフトに付属のマニュアルやヘルプを参照して、設定や制限事項などを確認します。

**A** 文字が英文フォントに設定されている場合、おかしな文字を選択し、日本語のフォントに変更します。

**A** [コマンドプロンプト]画面の場合、表示が日本語モード、英語モードのどちらに設定されているか確認します。

**参照** ホームページの文字化けについて 2章の「ホームページが文字化けする」

**Q** タスクバーが表示されない

**A** [タスクバーを固定する]の設定が解除されており、かつ、画面の端に隠れるほどタスクバーの幅を細くしています。画面の下端などにマウスを動かし、マウスポインターが矢印に変わったら、そのままドラッグしてタスクバーの幅を広げます。

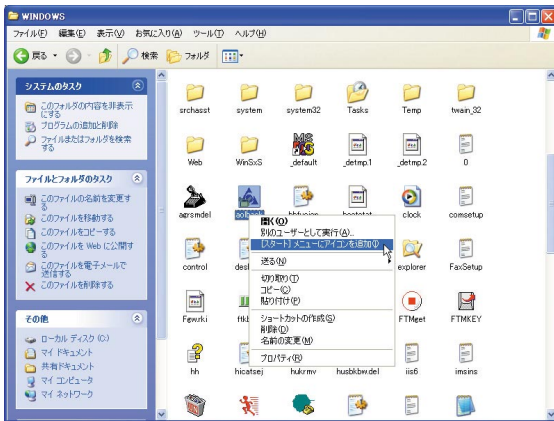
**A** タスクバーの設定を変えています。[スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[タスクバーと[スタート]メニュー]をダブルクリックしてプロパティを開いて、[タスクバー]タブの[タスクバーを自動的に隠す]のチェックマークを消してください。

## Q アプリケーションが[スタート]メニューにない

A アプリケーションを[スタート]メニューに登録します。

1 エクスプローラまたはマイコンピュータから、登録したいアプリケーションのアイコンを表示させる。ファイルが表示されない場合は、このフォルダの内容を表示する をクリックする。

2 アプリケーションアイコンを右クリックし、[[スタート]メニューにアイコンを追加]を選択する。



## Q [すべてのプログラム]メニューがいっぱいになって、選択しにくい

A [すべてのプログラム]メニューを整理します。

1 [スタート]ボタン - [すべてのプログラム]を選択し、移動するメニューをポイントし、メニューを移動する位置までドラッグ&ドロップする。

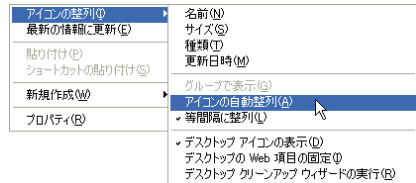
A よく使うアプリケーションは、わくわくナビに登録します。

**参照** 登録方法 『パソコン入門』の「便利なホームページを開こう」「自分用に「わくわくナビ」を変える」

## Q デスクトップがアイコンで乱雑になった

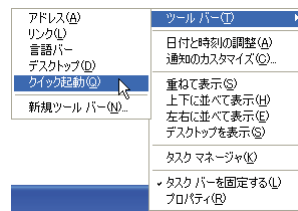
A アイコンを自動整列します。

1 デスクトップでアイコンのないところを右クリックし、[アイコンの整列] - [アイコンの自動整列]を選択する。



A アプリケーションのショートカットをクイック起動バーから立ち上げられるようにします。

1 タスクバーの何も表示されていないところを右クリックし、[ツールバー] - [クイック起動]を選択する。



2 アプリケーションのアイコンを、[クイック起動]バーにドラッグ&ドロップする。ここをクリックして現れるメニューから、アプリケーションを立ち上げられるようになる。[クイック起動]バーにアプリケーションのアイコンが表示されていないときは、右端の[>>]をクリックする。



A 不要なアイコンを削除します。

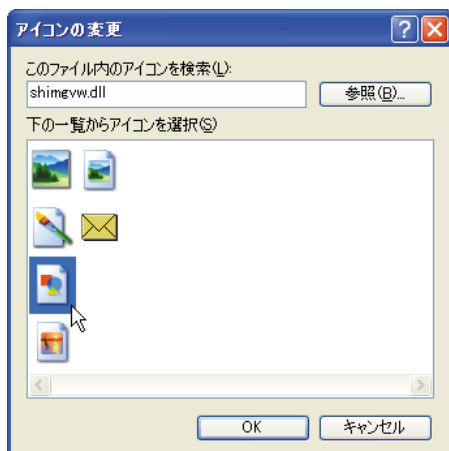
1 削除するアイコンを右クリックし、[削除]を選択し、[はい]ボタンをクリックする。



## アイコンの絵柄が変わってしまった

**A** フォルダーオプションでアイコンの絵柄を変更します。

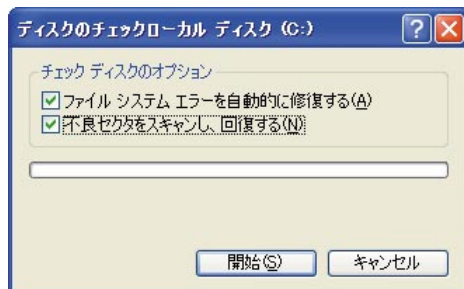
- 1 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択し、[ツール] - [フォルダオプション]を選択する。
- 2 [ファイルの種類]タブをクリックし、アイコンの絵柄を変更するファイルタイプを選択し、[詳細設定]ボタンをクリックする。
- 3 [アイコンの変更]ボタンをクリックし、アイコンを選択し、[OK]ボタンをクリックする。



**A** チェックディスクツールを実行し、ハードディスクを修復します。

- 1 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択する。
- 2 [ローカルディスク(C:)]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
- 3 [ツール]タブをクリックし、[エラーチェック]の[チェックする]ボタンをクリックする。

- 4 [ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]をチェックし、[開始]ボタンをクリックする。チェックディスクツールが開始され、終了すると結果レポートが表示される。



- 5 [OK]ボタンをクリックする。

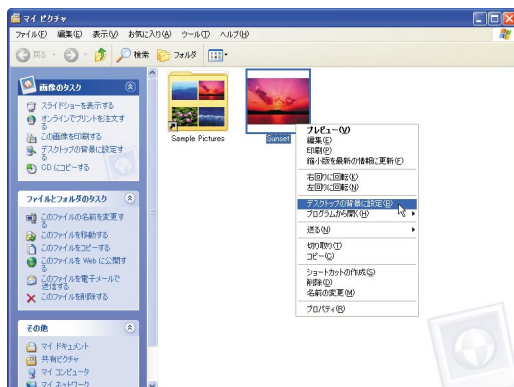


## デスクトップの背景を変えたい

**A** デスクトップの背景を変えます。

**参照** デスクトップの背景について 『パソコン入門』の「2. ウィンドウとデスクトップを使おう」「デスクトップを好みの背景に変える」

- 1 自分で描いた画像や写真などを使う場合は、bmp、gif、またはjpg形式にして、C:\WINDOWSまたはC:\%Documents and Setting%\ユーザー名\My Documents\My Picturesにコピーしておく。フォルダーが表示されないときは、「このフォルダの内容を表示する」をクリックする。
- 2 背景にしたい画像ファイルのアイコンを右クリックし、[デスクトップの背景に設定]を選択する。



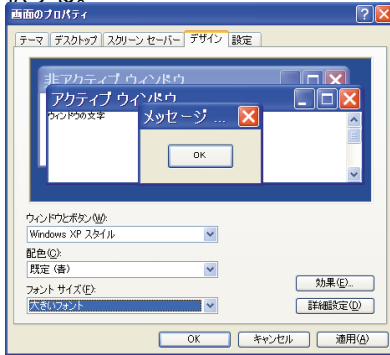




## 画面の文字が小さい

**A** 画面に表示するフォントサイズを大きくします。

- 1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ]を選択する。
- 2 [デザイン]タブをクリックし、[フォントサイズ]で[大きいフォント]を選択する。



- 3 [OK]ボタンをクリックする。

**A** 画面の解像度を下げます。

- 1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ]を選択する。
- 2 [設定]タブをクリックし、[画面の解像度]で「小」側に移動する。



## 動画の再生が終わっても、画像が残ったままになる

**A** 再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行います。なお、Media Playerなどで動画ファイルを再生しているときは、コマンドプロンプトを起動してからWindows側に切り替えたり、コマンドプロンプトのウィンドウを最大化してから終了しないでください。これらの操作を行うと、パソコンの動作が異常になることがあります。

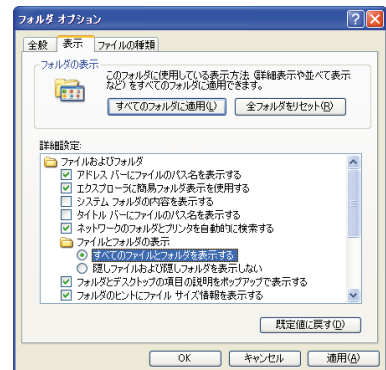
## ファイルがうまく管理できない



### エクスプローラで探しているファイルが見つからない

**A** 隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダオプションの設定を変更します。

- 1 [スタート]ボタン - [マイコンピュータ]を選択し、[ツール] - [フォルダオプション]を選択する。
- 2 [表示]タブをクリックし、[詳細設定]の[ファイルとフォルダの表示]を開き、[すべてのファイルとフォルダを表示する]を選択する。



- 3 [OK]ボタンをクリックする。

**A** フォルダの内容が非表示に設定されています。「このフォルダの内容を表示する」をクリックすると、以降はそのフォルダ内のファイルが表示されるようになります。

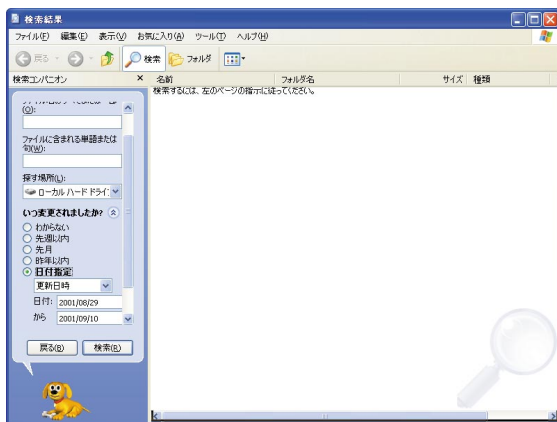
**A** 正しいフォルダを選択します。

**A** どのフォルダに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。

1 [スタート]ボタン - [検索] - [ファイルとフォルダすべて]を選択する。

2 [いつ変更されましたか?]をクリックする。

3 [日付指定]を選択し、ファイルを作成した日付の範囲を指定する。ファイル名やファイルの種類がわかれば、検索条件に追加して[検索]ボタンをクリックする。



4 検索されたファイルのフォルダを確認する。

**A** 新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダに入ることがあるので、このフォルダを確認する。

**A** DVD-ROM&CD-R/RWマルチドライブまたは、CD-R/RWドライブ、DVD-ROMドライブ、DVD-RAM/Rドライブ内のディスク内の3階層程度下のフォルダを開くと、正しくフォルダが表示されない場合があります。



CD-ROMからコピーしたファイルを上書きできない

**A** ファイル属性の読み取り専用を解除します。

1 エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

2 [読み取り専用]のチェックを外す。

3 [適用]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックする。

4 エクスプローラのウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

## インターネット使用中のトラブル



インターネットに接続できない

**A** 外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

**A** 接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。

**A** 接続先のサーバーが停止していないかを確認します。

**A** 設定してある接続先の電話番号を確認します。

1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックする。

2 使用している接続先のアイコンを右クリックし[プロパティ]を選択する。

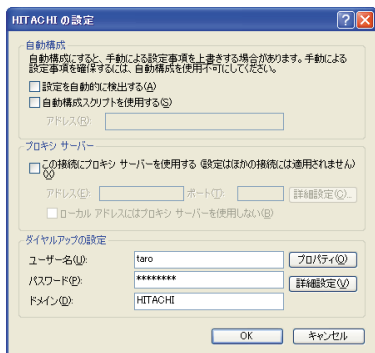
- 3 [全般]タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。



A 内蔵モデムを使用してプロバイダーに接続する場合、アクセスポイントによってはつながりにくいことがあります。この場合、アクセスポイントを変更して接続してください。

A ユーザー ID やパスワードを確認します。

- 1 [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。
- 2 [接続]タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定]で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定]ボタンをクリックする。
- 3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。

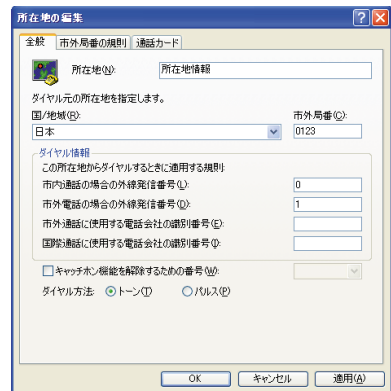


A モデムの設定が正しいかを確認します。

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする。

- 2 [ダイヤル情報]タブをクリックし、[所在地]を選択して[編集]ボタンをクリックする。

- 3 [全般]タブをクリックし、国/地域、市外局番、ダイヤル情報を確認して、[OK]をクリックする。



- 4 [モデム]タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。

- 5 [プロパティ]ボタンをクリックし、[XXXXのプロパティ]の[詳細]タブをクリックする。

- 6 [既定の設定を変更]ボタンをクリックし、[XXXX既定の変更]の[全般]タブ、[詳細]タブをクリックして、接続の形式などを確認する。



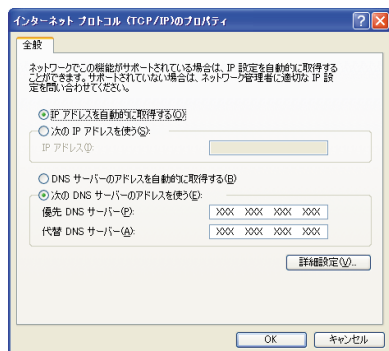
A ネームサーバーや IP アドレスなどの TCP/IP の設定を確認します。

- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックする。

- 2 使用している接続先のアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択する。

3 [ネットワーク]タブをクリックし、確認する接続を選択して[プロパティ]ボタンをクリックする。

4 IPアドレスとネームサーバーを確認する。



A パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。

A AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

A ターミナルアダプター(以下、TA)をご使用の場合、Windows XP に対応しているTAであるかを確認します。機種によっては、Windows XP に対応していないことがあります。

A ADSL モデムなどの電源が入っているか確認します。

A モデムや通信機器の各ケーブルが、正しく接続されているか確認します。



### 接続中に突然回線が切れる

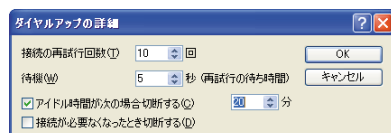
A データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れま  
す。通信していない時間を長くすると  
きは、次のようになります。

1 [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。

2 [接続]タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定]で使用  
するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定]ボタンをクリックする。

3 [詳細設定]ボタンをクリックする。

4 [アイドル時間が次の場合切断する]を  
チェックして、アイドル時間を長くする。



A キャッチホンがかかると、通信が切れま  
す。キャッチホンIIに切り替えると解消  
します。

A 接続先のサーバーがダウンした可能性  
があります。サーバーが回復するのを待  
って、もう一度接続します。

A Outlook の使用時では、[手動の送受信  
が終了したら切断する]を、Outlook  
Express の使用時では、[送受信が終了  
したら切断する]をチェックしていると、  
メールの送受信後自動的に回線が切れ  
ます。

A 回線にノイズが発生しました。しばらく  
待って、もう一度接続します。

A パソコンがシステムスタンバイの状態に  
なっています。システムスタンバイをオ  
フにします。

A モデムケーブルの接続を確認し、接続  
が正しくない場合は、パソコンの電源  
を切ってから接続し直します。



### 接続中にパソコンの電源を切ってしまった

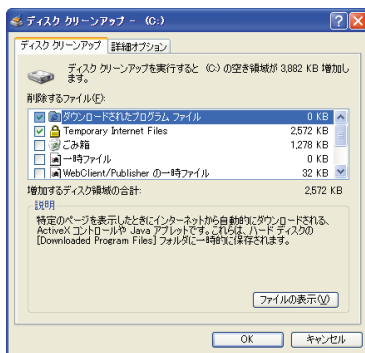
A 電話回線は強制的に切断されます。ダ  
ウンロード中のファイルがある場合は、  
正常に保存されないことがあります。



## ホームページが開かない

- A** URLの入力が正しいか確認します。
- A** 指定したURLのホームページがなくなっています。
- A** ハードディスクの空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などでハードディスクの空き容量を増やします。

- 1 [スタート]ボタン - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [ディスク クリーンアップ]を選択する。状態のチェックを行い[ディスク クリーンアップ]が表示される。
- 2 [ディスク クリーンアップ]タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK]ボタンをクリックする。確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックする。



- A** 指定したURLのホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティレベルを調整します。

- 1 [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。
- 2 [セキュリティ]タブをクリックし、[Webコンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する]で、[インターネット]が選択されていることを確認する。

- 3 [レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックする。
- 4 [カスタム設定のリセット]の[リセット]でレベルを選択し、[リセット]ボタンをクリックする。
- 5 「このゾーンに設定されているセキュリティのレベルを変更しますか?」という警告が表示される。[はい]をクリックする。
- 6 [OK]、[OK]の順にクリックする。



## モデムの発信音がうるさい

- A** モデムの発信音を消します。
- 1 [スタート]ボタン - [コントロールパネル]を選択し、[電話とモデムのオプション]アイコンをダブルクリックする。
  - 2 [モデム]タブをクリックし、使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ]ボタンをクリックする。
  - 3 [モデム]タブをクリックし、[音量]のスライダを[オフ]にする。



- 4 [OK]、[OK]の順にクリックして終了する。

**ヒント** ▶ 再び音を出す場合は、手順3で[音量]のスライダを右に移動してください。



Phone端子に接続した機器(FAXなど)から通信音が出る

**A** インターネットなどパソコンの通信中は、Phone端子からも通信音が出力されます。Phone端子に接続している機器の設定を変更するか、Phone端子に接続せずに、市販の秘話機能付分配アダプター(自動切替器)を使用すると改善される場合があります。接続している機器の設定変更については、接続している機器に添付のマニュアルをご参照ください。



転送スピードが遅い

- A** サーバーが混んでいます。
- A** パソコンに接続した通信機器から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した通信機器を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。
- A** AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。

## インターネットブラウザのトラブル



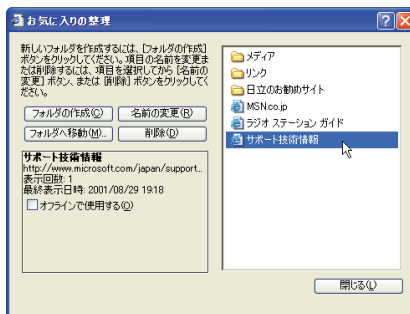
「お気に入り」が増えすぎた

**A** フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

**参照** お気に入りの整理について『始めよう!インターネット』2章の「[お気に入り]を整理する」

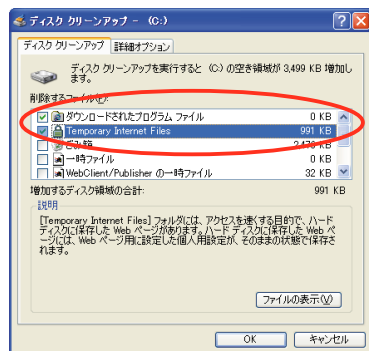
**A** お気に入りのページを削除します。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、[お気に入り] - [お気に入りの整理]を選択する。
- 2 削除するホームページを選択し、[削除]ボタンをクリックし、[はい]ボタンをクリックする。



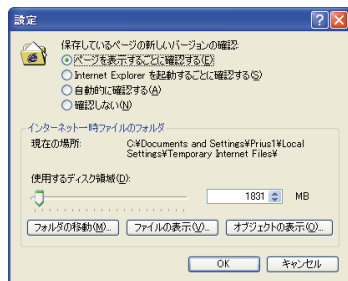
開いたホームページが更新されていない

- A** 立ち上げ直したあと、ハードディスクのクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。
  - 1 [スタート]ボタン - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [ディスク クリーンアップ]を選択する。状態のチェックを行い、[ディスク クリーンアップ]が表示される。
  - 2 [ディスク クリーンアップ]タブをクリックする。削除するファイルにチェックを付け、[OK]ボタンをクリックする。確認のメッセージで[はい]ボタンをクリックする。



**A** キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。
- 2 [全般]タブをクリックし、[インターネット一時ファイル]の[設定]ボタンをクリックする。
- 3 [保存しているページの新しいバージョンの確認]で[ページを表示することに確認する]、[Internet Explorer を起動することに確認する]、[自動的に確認する]、[確認しない]のいずれかを選択する。



### A 一時ファイルを削除します。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。
- 2 [全般]タブをクリックし、[インターネット一時ファイル]の[ファイルの削除]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックする。

### Q ホームページが文字化けする

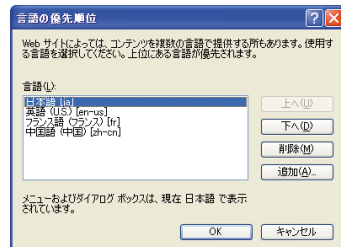
#### A 表示している文字の種類を日本語に変更します。

- 1 インターネットエクスプローラで、[表示] - [エンコード] - [日本語(シフトJIS)]または[日本語(自動選択)]、[日本語(EUC)]を選択する。

#### A 日本語を優先して表示する設定に変更します。

- 1 インターネットエクスプローラで、[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。

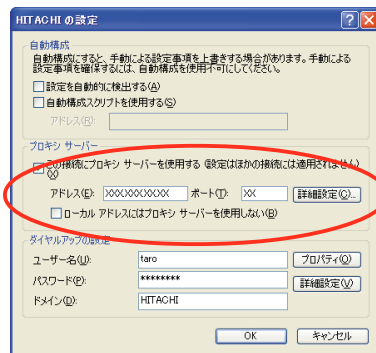
- 2 [全般]タブをクリックし、[言語]ボタンをクリックする。
- 3 [日本語[ja]]を選択し、[上へ]ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語[ja]]がないときは、[追加]ボタンをクリックし、[日本語[ja]]を選択し[OK]ボタンをクリックする。



### Q ホームページの表示が遅い

#### A プロキシサーバーを利用します。

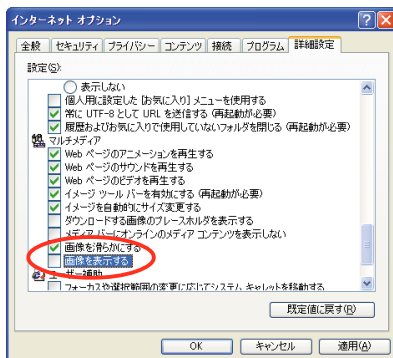
- 1 [スタート]メニューの[インターネット]アイコンを右クリックし、[インターネットのプロパティ]を選択する。
- 2 [接続]タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定]ボタンをクリックする。
- 3 [この接続にプロキシサーバーを使用する]をチェックし、アドレスとポートを入力する。



**ヒント** ▶ アドレスとポートはプロバイダーにお問い合わせください。

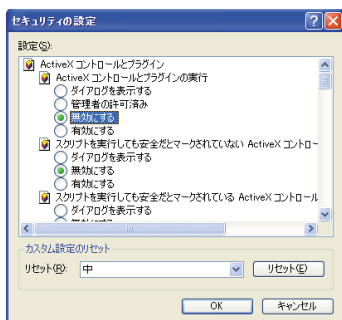
#### A 画像の表示をやめます。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。
- 2 [詳細設定]タブをクリックし、「マルチメディア」の[画像を表示する]のチェックを外す。



**A** ActiveX を無効にします。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] - [インターネットオプション]を選択する。
- 2 [セキュリティ]タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックする。
- 3 「ActiveXコントロールとプラグインの実行」の[無効にする]を選択する。



**A** パソコンに接続した電話機から影響を受けている可能性があります。パソコンに接続した電話機を外して、インターネットに接続してください。正しく接続できる場合は、市販の秘話機能付き電話自動切替機をご使用いただくことで、改善できる場合があります。

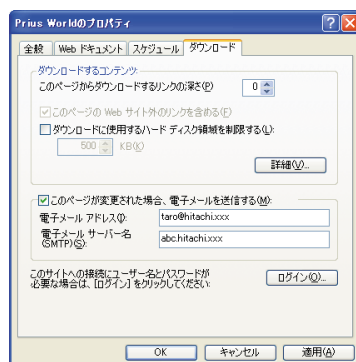
**A** AC電源やモデムケーブルにノイズが発生している可能性があります。市販のAC電源ノイズフィルターや、市販のモデムラインノイズフィルターを使用して、ノイズを除きます。



ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

**A** ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

- 1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。
- 2 [お気に入り] - [お気に入りに追加]を選択し、フォルダーを選択して[OK]ボタンをクリックする。
- 3 [お気に入り] - [お気に入りの整理]を選択する。
- 4 更新通知を送信させるホームページを選択し、[オフラインで使用する]をチェックする。  
[プロパティ]ボタンが表示される。
- 5 [プロパティ]ボタンをクリックする。  
[XXXのプロパティ]が表示される。
- 6 [ダウンロード]タブをクリックする。
- 7 [このページが変更された場合、電子メールを送信する]をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、[OK]ボタンをクリックする。





- 8 [閉じる]ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。



インターネットの画像がART形式でしか保存できない

- A AOLに加入している場合、AOL専用ブラウザでは自動的にART形式が選択されます。ART形式以外に、bmp形式を選ぶこともできます。JPEG形式で保存したい場合は、ART形式からJPEG形式に変換するソフトを使用します。詳しくはAOLにお問い合わせください。

**参照** お問い合わせ先について 3章の「お問い合わせ情報」

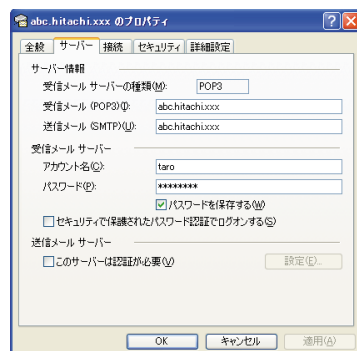
## メールの送受信がうまくいかない



メールの送受信ができない

- A [送受信]ボタンを数回押します。
- A サーバーが停止していないかを確認します。
- A 受信メール(POP3)サーバー、送信メール(SMTP)サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。
- 1 Outlook Expressを起動し、[ツール] - [アカウント]を選択する。
  - 2 [メール]タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、[プロパティ]ボタンをクリックする。

- 3 [サーバー]タブをクリックし、正しい受信メール(POP3)サーバー、送信メール(SMTP)サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。



送信したメールが相手に届いていない

- A 宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。
- A メールサーバーが停止していないかを確認します。
- A 添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さくしてもう一度送信します。



受信したメールが文字化けしている

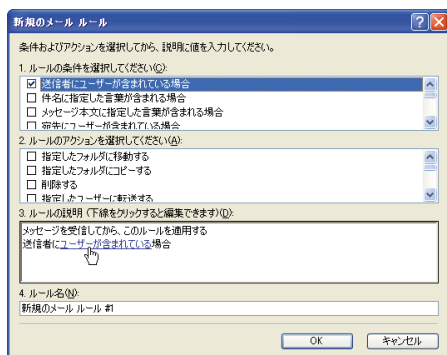
- A 表示するフォントを日本語にします。
- 1 Outlook Expressで、[表示] - [エンコード] - [日本語(自動選択)]を選択する。
- A 添付データの送信形式を送信相手にし、MIMEの「Base 64形式」または「なし」で送信するように依頼します。



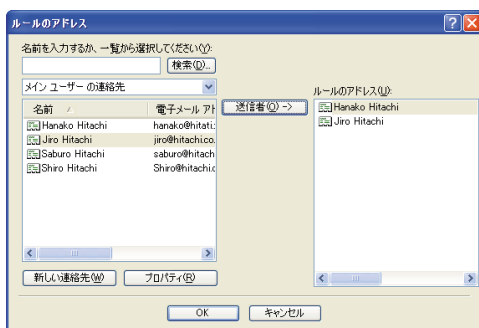
受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

- A 受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、Outlook Expressで、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

- 1 [ツール] - [メッセージルール] - [メール]を選択する。
- 2 [1. ルールの条件を選択してください]で[送信者にユーザーが含まれている場合]をチェックする。
- 3 [3. ルールの説明(下線をクリックすると編集できます)]の「送信者にユーザーが含まれている場合」をクリックする。



- 4 [アドレス帳]ボタンをクリックし、送信者を選択して[送信者]ボタンをクリックし、[ルールのアドレス]に表示する。ほかの送信者も選択する場合は、同様にする。[OK]ボタンを2回クリックし、[新規のメールルール]に戻る。



- 5 [2. ルールのアクションを選択してください]の[指定したフォルダに移動する]をチェックし、[3. ルールの説明(下線をクリックすると編集できます)]の「指定したフォルダ」をクリックする。
- 6 [アイテムの移動先]で受信メールを移動するフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックする。

- 7 [4. ルール名]に分類する名称を入力し、[OK]ボタンを2回クリックする。

## 一括セットアップできない



「一括インストールCD」や「再セットアップDVD」をドライブに入れてパソコンを立ち上げてもメニューが表示されない

- A ご購入後に増設した機器を取り外してから、一括セットアップを行います。
- A デスクトップパソコンで、ドライブが2つあるモデルの場合、CD-R/RWドライブに「一括インストールCD」を入れ、電源を入れ直します。なお、「再セットアップDVD」の場合は、DVDドライブに入れてください。

## 電子マニュアルの操作で困った!



電子マニュアルが立ち上がらない

- A 「活用百科」CDの[install]フォルダーの中の[ar505jpn.exe]をダブルクリックし、Acrobat Readerをインストールします。



画像が表示されず、グレーのボックスになる

- A Acrobat Readerの[ファイル] - [環境設定] - [一般]をクリックし、[データ量の多い画像を表示]にチェックマークを付けます。

## Q Acrobat Readerがインストールできない

A ご使用中のソフトウェアによっては、インストールできないことがあります。この場合は、そのソフトウェアをアンインストールしてからAcrobat Readerをインストールします。そのあとで、アンインストールしたソフトウェアをインストールし直します。ソフトウェアをアンインストールしても「¥Windows¥Temp」フォルダーに一部のファイルが残ることがあります。このときは、「Temp」フォルダー内のファイルを削除します。

## ソフトウェアのトラブル

### Q 動画がメディアプレイヤーで再生できない

A avi の場合、ファイルの入手先によっては専用コーデックを使用していることがあります。コーデックを同時に入手し、インストールしてください。

A mpeg2 の場合、DVD-ROM ドライブ、または DVD-RAM/R ドライブを内蔵していないモデルでは再生できません。

### Q VirusScan、VShieldがうまく動作しない

A VirusScan はスケジューラでのネットワークドライブのスキャンは行いません。ネットワークドライブをスキャンするときは、[オンデマンドスキャン]をご使用ください。

A [スクリーンスキャン]、[cc:Mail スキャン]は動作しません。

A 「書き込み禁止」となっているフロッピーディスクでコンピューターウイルスを発見した場合は、フロッピーディスクのライトプロテクトノッチを「書き込み可能」側に移動してからコンピューターウイルスへの操作を行ってください。ライトプロテクトノッチが「書き込み禁止」となったまま操作を行うと、画面の表示と実際の動作が異なる場合があります。

A VirusScan コンソールの[DATの自動アップデート]の[ログ]タブで、[ログへの記録]チェックボックスをオフにしてもログが作成されます。

A VShield の[システムスキャンプロパティ]の[アクション]に表示されている次の設定項目は、設定しても正しく動作しません。設定しないでください。

- ・[感染ファイルを移動]
- ・[感染ファイルを削除]
- ・[ファイルを除外]

### Q 「Office XP」で新規ファイルの作成や更新などができなくなってしまった

A 「Office XP」をセットアップし直した場合は、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行わず、許容起動回数に達すると、新規ファイルの作成や更新など一部の機能が使えなくなります。ライセンス認証の方法については、「Office XP」の『セットアップガイド』をご参照ください。

## ソフトウェアをもっと使いこなしたい

**Q** ソフトウェアの便利な使い方を知りたい

**A** 電子マニュアル『パソコンヒント集』に、ソフトウェアのいろいろな使い方を、次の内容ごとにまとめています。電子マニュアルをセットアップして、ご参照ください。

- ・ Windows
- ・ ユーティリティ
- ・ インターネット
- ・ メール

**参照** 電子マニュアルのセットアップ方法  
『パソコン入門』「1. パソコンを始めよう」の「電子マニュアルを使う」

**Q** BIOSをアップデートしたい

**A** デスクトップパソコンの場合、次の手順で現在のBIOSのバージョンを確認してください。

- 1 パソコンの電源を入れ、起動画面が表示されたら[ Delete ]キーを押し、セットアップメニューを表示させる。
- 2 [ CMOS Setup Utility ]画面で[ Standard CMOS Features ]を選択する。
- 3 [ Standard CMOS Features ]画面の[ BIOS Version ]でBIOSのバージョンを確認する。
- 4 確認が終わったら、[ Esc ]キーを押し、[ Exit Without Saving ]を選択する。
- 5 [ Enter ]キー、[ Y ]キーの順に押し、セットアップメニューを終了する。
- 6 PriusWorldサポートページでBIOSのアップデート方法を参照し、アップデートを実行してください。

**A** ノートパソコンの場合、次の手順で現在のBIOSのバージョンを確認してください。

- 1 パソコンの電源を入れ、起動画面が表示されたら[ F2 ]キーを押し、セットアップメニューを表示させる。
- 2 [ Setup Utility ]画面で[ Main ]が選択されていることを確認する。
- 3 [ BIOS Version ]でBIOSのバージョンを確認する。
- 4 確認が終わったら、[ Esc ]キーを押し、[ Exit Discarding Changes ]を選択し、[ Enter ]キーを押してセットアップメニューを終了する。

# 3章

## サービス&サポート

この章では、  
アプリケーションなどのお問い合わせ先や、  
サービス、アフターケアについて紹介しています。

# お問い合わせ情報

増設の周辺機器については、各機器の販売元や開発元へお問い合わせください。

## @niftyでインターネット

ニフティ株式会社  
@nifty入会センター  
9:00～21:00(毎日)  
電話: 0120-816-042

ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。

URL : <http://www.nifty.com/support/madoguchi/>

## AI将棋、AI囲碁、AI麻雀

### デジカメNinja2002、

### ホームページNinja、ラベル王

株式会社アイフォー  
株式会社アイフォーユーザーサポート係  
10:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日、年末年始を除く)  
電話: 03-3369-9581  
FAX : 03-3369-9580  
ラベル王のみ  
電話: 03-3369-8381  
FAX : 03-3369-8432

## AOL

America Online, Inc  
AOLサポートセンター  
9:00～21:00(年中無休)  
電話: 0120-275-265

## ASAHIネットオンラインサインアップソフト

株式会社アトソン  
ASAHIネット事務局  
10:00～17:00(休日を除く月曜～土曜)  
電話: 03-3569-3500  
E-mail: [ap-net@asahi-net.or.jp](mailto:ap-net@asahi-net.or.jp)

## BeatJam for HITACHI、BeatJam XX-TREME、 BeatStream、Megavi DV2

株式会社ジャストシステム  
ジャストシステムサポートセンター  
10:00～12:00、13:00～19:00(土日、祝日、株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)  
電話: 03-5412-8205、06-6886-8205

## DIONオンラインサインアッププログラム

KDDI株式会社  
KDDIカスタマーサービスセンター  
9:00～21:00(毎日)  
サービス内容に関するお問い合わせ  
電話: 0077-7192(無料)  
E-mail: [support@dion.ne.jp](mailto:support@dion.ne.jp)

## 接続・設定等に関するお問い合わせ

電話: 0077-20227(有料 全国一律10円/分)  
携帯電話・PHS: 東京 03-5348-3975(有料)  
札幌 011-232-7012(有料)

\*お電話番号はお間違えないよう、お気をつけください。

E-mail: [tech\\_support@dion.ne.jp](mailto:tech_support@dion.ne.jp)  
ADSLコースのサービス内容、接続・設定等に関するお問い合わせ

電話: 0077-7084(無料)

E-mail: [bbsupport@dion.ne.jp](mailto:bbsupport@dion.ne.jp) (サービス内容)  
[bbtech@dion.ne.jp](mailto:bbtech@dion.ne.jp) (接続・設定等)

## DVD-MovieAlbumSE

松下電器産業株式会社  
DVD-RAMメディアやDVDカメラの接続についてのお問い合わせ

株式会社日立製作所 FLORA安心コールセンター  
9:30～22:00(平日)、10:00～22:00(土日、祝日)  
1月1日は休ませていただきます。

電話: 0120-8855-96(フリーダイヤル)  
03-3298-6750(一般回線)

ソフトウェアについてのお問い合わせ

松下電器産業株式会社  
お客様相談センター  
9:00～20:00(365日)  
電話: 0120-878-365

## eAccess

### (イー・アクセス ADSL スターターキット)

イー・アクセス株式会社  
イー・アクセス株式会社カスタマーサービスセンター  
10:00～18:00(毎日)  
電話: 0120-2754-37(フリーダイヤル)  
E-mail: [info@eaccess.net](mailto:info@eaccess.net)

## isao.net

株式会社 ISAO  
isao.netサポートセンター  
10:00～21:00/月～金(年末年始など指定日を除く)  
電話: 0570-057-050(ナビダイヤル)  
URL : <http://www.isao.net>

## MotionDV STUDIO

松下電器産業株式会社  
お客様相談センター  
9:00～20:00(年中無休)  
電話: 0120-878-365(フリーダイヤル)  
URL : [http://www.panasonic.co.jp/avc/home/cgi-bin/avc\\_cs\\_a.cgi?03](http://www.panasonic.co.jp/avc/home/cgi-bin/avc_cs_a.cgi?03)

**neoDVD**

neoDVD製品に関するお問い合わせ(技術)

neoDVD サポートセンター

10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土日、祝日、夏期、年末年始特別休暇を除く)

電話: 047-369-4369

FAX : 047-360-2735

E-mail: neodvd@ckinfo.co.jp

**Office XP Personal (Word、Excel、Outlook、  
Bookshelf Basic)、Outlook Plus!**

マイクロソフト株式会社

スタンダードサポート

9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 19:00(土日、祝日、年末年始を除く)

電話: 03-5354-4500、06-6347-4400

**So-net簡単スターター**

ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社

So-netインフォメーションデスク

10:00 ~ 21:00(年中無休)

電話: 0570-00-1414( 全国一律どこからかけても8.5円/  
3分)

FAX : 03-3446-7557

E-Mail: info@so-net.ne.jp

**Super Mapple Digital**

株式会社 昭文社

ユーザーサポート係

10:00 ~ 12:00、14:00 ~ 16:00( 祝祭日除く)

電話: 03-3556-5972

FAX : 03-3556-8881

E-mail: smd@mapple.co.jp

\* ユーザー登録兼優待販売申込書をお送りいただいたお客様のみ対象とさせていただきます。

**インターネットするならBIGLOBE**

日本電気株式会社(NECソリューションズ)

BIGLOBEカスタマーサポートインフォメーションデスク

年中無休(24時間365日)

電話: 0120-86-0962(フリーダイヤル)

03-3947-0962(携帯電話、PHS用)

URL: <http://support.biglobe.ne.jp/>URL: <http://support.biglobe.ne.jp/ask.html>**時事通信社「家庭の医学」デジタル第2版**

株式会社時事通信社

株式会社時事通信社 出版局

10:00 ~ 17:00(平日)

電話: 03-3591-8690

E-mail: igaku@jiji.co.jp

**タイピングドリーム アフロ犬**

株式会社フォーティーファイブ

株式会社ホロン お客様サポート窓口

10:00 ~ 18:00( 土日、祝日を除く)

電話: 03-5282-3277

FAX : 03-5282-5105

E-mail: support@holon.soft.co.jp

**世界大百科事典 第2版**

株式会社日立システムアンドサービス

10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00( 土日、祝日、株式会社日立シス

テムアンドサービス休業日を除く)

電話: 03-3763-0542

FAX : 03-3763-0542

E-mail: hyperdia@tama.hitachi-his.co.jp

**ドリームネット、i-Maker for Win、Odigo**

ドリームネット株式会社

ドリームネット・インフォメーションセンター

10:00 ~ 18:00( 土日、祝日を除く)

電話: 0120-5656-86(フリーダイヤル)

FAX : 03-5297-7751

**日本テレコム ODNスターターキット**

日本テレコム株式会社

ODNサポートセンター

9:00 ~ 18:00(年中無休)

電話: 0088-86(ODNサ - ビス案内、無料)

0088-85(ODN接続サポート、無料)

FAX : 0088-22-8850(24時間自動着信)

E-Mail: odn-support@odn.ad.jp(サ - ビス案内)

tech-support@odn.ad.jp(接続サポ - ト)

**ハイパーダイヤ**

株式会社日立情報システムズ

ハイパーダイヤユーザーサポート

10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00( 休日、祝日を除く月曜 ~ 金曜)

電話: 03-3464-7844

FAX : 03-3476-2539

E-mail: hyperdia@tama.hitachi-his.co.jp

**筆ぐるめ**

富士ソフトABC株式会社

富士ソフトABC株式会社インフォメーションセンター

9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00( 土日、祝日、富士ソフトABC株式

会社休業日を除く)

電話: 03-5600-2551

FAX : 03-3634-1322

E-mail: users@fsi.co.jp

## らくらく家計簿 ゆとりちゃん5

株式会社コーパス  
カスタマサービス係  
10:00～12:00、13:00～17:00(土日、祝日、株式会社コーパス  
休業日を除く)  
電話: 03-5275-0538  
FAX : 03-5275-0535(終日受付)  
E-mail: support@corpus.co.jp

## VirusScan

日本ネットワークアソシエイツ株式会社では、ユーザー登録を行っていただいたお客様に、サポートセンターによる1年間の無償サポートを行っています。技術情報や技術的なお問い合わせについて対応いたします。  
さらに、新種ウイルスの検出・駆除に必要なウイルス検出エンジン SuperDAT のダウンロードサービスも行っています。180日間の無償でアップグレードできます。  
詳しくは[スタート]ボタン-[すべてのプログラム]-[Network Associates]-[ウイルススキャン ユーザー登録]をご参照ください。

## Drag 'n Drop CD

サポートとユーザー登録は、Web での対応になります。  
Drag'n Drop CD のタスクトレイアイコンを右クリックして表示されるメニューから「ユーザー登録 / サポート」を選んでください。

## 調べ tel

わくわくナビ  
インターネット CITY  
Acrobat Reader  
DVD-RAM Software  
Prius Navistation  
Prius サウンド REC  
PriusAV ランチャー  
Prius 壁紙  
メール着信ソフト  
WinDVD  
自動ログオン設定プログラム  
世界大百科事典  
パソコンの使い方や製品に関するご質問、  
付属品(ラスターパネルなど)を破損、紛失したときの、新しい付属品の入手方法

上記ソフト、設定などのお問い合わせ先

**参照** お問い合わせ先 「日立 FLORA安心コールセンター」

2002年4月現在のものです。

インストールされているアプリケーションは、機種によって異なります。



# トラブルチェックシート

お問い合わせするときには、前もって次表の各欄に記入し、この表を見ながらトラブルの内容をお話ください。

No.	項目	
1	お名前	
2	お電話番号	
3	住所	
4	形名	
5	製造番号	
6	購入店	
7	メモリーは増設しましたか	・はい(メーカー: ) ・いいえ 容量: MB)
8	一緒にお使いの周辺機器	・ディスプレイ(品名: ) 形名: ) メーカー: ) ・プリンター(品名: ) 形名: ) メーカー: ) ・ボード・カード類(品名: ) 形名: ) メーカー: ) ・その他(品名: ) 形名: ) メーカー: )
9	一緒にお使いのソフトウェア	・OS(Windows)(名称: ) バージョン: ) メーカー: ) ・その他(名称: ) バージョン: ) 形名: ) メーカー: )
10	トラブルの内容は?	
11	トラブルはいつから起きましたか?	
12	トラブルは何をしてから起きましたか?	
13	トラブルは何かをすると起こりますか?(発生条件、タイミング)	
14	エラーメッセージは表示されますか?表示されるときは、その内容をご記入ください。	
15	以前は問題なく動作していましたか?	・はい ・いいえ
16	トラブルは再現しますか?	・はい ・いいえ
17	電源を入れるまでにトラブルシューティングとして何か行いましたか?	・はい ・いいえ
18	そのほか、お気づきのことがあればご記入ください。	

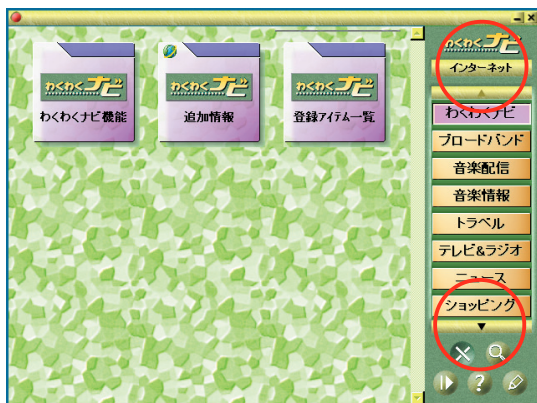
# ユーザー登録について

パソコン購入後は、すぐにユーザー登録を行うことをお勧めします。次に示すいずれかの方法で行ってください。

## Webによる登録

すでにインターネットの接続環境が整備されている場合は、Webによる登録をお勧めします。ここでは、新規に登録するときの手順を説明しています。次の手順で行ってください。

- 1 デスクトップにある[わくわくナビ]アイコンをダブルクリック。  
[わくわくナビ]画面が表示される。
- 2 メニューの表示のみで左側のアイテムが表示されていないときは、画面切り替えボタン [◀]をクリック。  
画面が切り替わる。
- 3 [ユーザー]ボタンをクリックし、[インターネット]をクリック。



- 4 [ ]ボタンをクリック。
- 5 [Prius情報]ボタンをクリックし、[Priusユーザー登録]をクリック。



[セキュリティの警告]が表示される。

## 6 [OK]をクリック。

「ユーザー登録」のページが表示される。



## 7 画面に従い登録を行う。

### ハガキによる登録

Webによる登録ができない場合は、添付のハガキによる登録を行います。所定の欄に、必要事項を正確に記入したあと、投函してください。

## 訪問レスキュー解決隊（有料サービス）

お客様のお悩みを解決する、有料サポートメニューを用意しました。

「訪問レスキュー解決隊」がお客様宅を訪問し、快適なパソコンライフをお手伝いします。

ニーズに合わせて、3コースからお選びください。

詳しいサービス内容・料金などは、「FLORA 安心コールセンター」にお問い合わせください。

「インターネットやEメールを楽しみたい」  
『らくらくインターネットパック』

### 【サポートメニュー】

- ・プロバイダー契約
- ・ホームページの見方
- ・Eメールの設定と使い方

\* あらかじめプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、弊社推奨のプロバイダーになります。

\* モデムが取付け済みのパソコンが対象です。

\* パソコン設置場所近くに電源・電話回線がある場合に限りです。ない場合は、別途工事となります。

\* ISDN回線使用の場合は、別途TA設定料金がかかります。

\* xDSL、CATV回線接続の場合は、別途ネットワーク設定料金がかかります。

「まず、基本操作を覚えたい」

### 『かんたんパソコンパック』

#### 【サポートメニュー】

- ・パソコンの設置・設定  
プリンターの接続設定を含みます
- ・Windowsの基本操作  
電源の入/切、マウス・キーボードの使い方、文字入力・変換、データの保存

「はじめてだけどいろいろ使いこなしたい」

### 『おまかせ安心パック』(『らくらくインターネットパック』+『かんたんパソコンパック』)

#### 【サポートメニュー】

- ・プロバイダー契約
- ・ホームページの見方
- ・Eメールの設定と使い方
  - \* あらかじめプロバイダーとの契約が必要です。未契約の場合は、弊社推奨のプロバイダーになります。
  - \* モデムが取付け済みのパソコンが対象です。
  - \* パソコン設置場所近くに電源・電話回線がある場合に限りです。ない場合は、別途工事となります。
  - \* ISDN回線使用の場合は、別途TA設定料金がかかります。
  - \* xDSL、CATV回線接続の場合は、別途ネットワーク設定料金がかかります。
- ・パソコンの設置・設定  
プリンターの接続設定を含みます
- ・Windowsの基本操作  
電源の入/切、マウス・キーボードの使い方、文字入力・変換、データの保存

## その他のオプションメニュー

定型3コース以外にも個別のオプションメニューを用意しています。

- ・アプリケーションのインストール
- ・ハードウェアのセットアップ
  - プリンターの接続とセットアップ
  - スキャナー(USB対応)のセットアップ
  - メモリーボードの増設
  - デジタルカメラの接続セットアップ
  - CD-R/RWなど、外付けドライブ装置のセットアップ
  - DVD-R/DVD-RAMなど、外付けドライブ装置のセットアップ
- ・その他のサポート
  - 電気工事、電話回線工事
  - LAN配線工事

## [重要]

インターネットやメール設定ご希望の方は

あらかじめプロバイダーとの契約が完了しているか、弊社推奨のプロバイダーと当日契約をしていただく場合に限りです。オンラインサインアップ(当日契約)の場合、クレジットカードが必要となる場合がありますので、あらかじめご確認をお願いいたします。

周辺機器の接続に関して

一般家庭用機器で、Windowsに対応している機器を対象とさせていただきます。業務用機器、特殊機器の接続は対象外です。

出張サポート対応時間

日曜日・祝日を除き月曜日から土曜日の下記時間内とさせていただきます。  
午前9:00～午後5:30まで

詳しいサービス内容、料金などは「FLORA 安心コールセンター」へお問い合わせください。

# アフターケアについて

ここでは、このパソコンを購入されたあとに受けられるアフターケアについて説明します。

## 保証書について

保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。保証期間終了後の修理については、FLORA 安心コールセンターにご相談ください。

**参照** お問い合わせ先 本章の「お問い合わせ情報」

## 保守サービスについて

保守サービスをお受けになる際は、FLORA 安心コールセンターにご相談ください。詳細については、付属の修理サービスのご案内をご覧ください。

## 保守サービスの種類

### 引き取り修理

FLORA 安心コールセンターにご連絡ください。修理依頼品をお引取りし、修理完了後にお届けいたします。保証期間中は修理費 / 運送費とも無償ですが、保証期間終了後は、修理費 / 運送費は有償です。

## 保守部品について

パソコン用保守部品の保有期間は、製造終了後 6 年です。

# さくいん

## A

ActiveX 54

## B

Base 64 形式 55

BIOS メニュー 15, 42

## C

CD-R 12

CMOS バッテリー 15

## D

DVD-RAM 12

DVD-RAM/R 35, 36

## I

IP アドレス 49

## L

LAN 40

## M

MIME 55

## P

PC カード 40

## T

TCP/IP 49

## U

URL 51

## V

VirusScan 11

## W

Windows 10, 22

## ア

アイコンの自動整理 45

アカウント名 55

アドレス帳 22, 56

アプリケーション 10

## イ

一時ファイル 53, 52

一括セットアップ 22

インストール 13, 21, 43

インターネット一時ファイル 37, 53

インターネットエクスプローラ 52

インターネットオプション 53

## ウ

上書き保存 13

## エ

エンコード 53

## オ

お気に入り 54

## カ

隠しファイル 47

拡張ボード 40

## キ

休止状態 17, 27

強制終了 16

## ク

クイック起動 45

クイックフォーマット 20

## ケ

言語 53

## コ

コンピューターウイルス 14

## サ

再インストール 27, 43

サウンドドライバー 32

## シ

システムスタンバイ 27, 50  
システムの復元 22  
システムのプロパティ 40  
自動保存 13  
周辺機器 8, 18, 39  
受信メール (POP3) サーバー 55  
省電力機能 17

## ス

スキップセクタ 36  
スタンバイ 17  
スタンバイ機能 27

## ソ

送信メール (SMTP) サーバー 55

## チ

チェックディスクツール 43

## ツ

通常のフォーマット 20

## テ

ディスククリーンアップ 37, 52  
ディスプレイ 29  
デバイスマネージャ 18, 32

## ト

ドライバー 13, 21

## ナ

名前をつけて保存 13

## ネ

ネームサーバー 49

## ハ

バージョン競合 43  
ハードウェアの追加ウィザード 19  
ハードディスク 9, 36, 51  
パスワード 43, 49, 55  
バックアップ 12

## フ

フォーマット 9, 35  
フォルダー 10  
不良セクター 36  
プリンター 33

プロキシサーバー 53  
フロッピーディスク 20, 34

## ホ

ボリュームコントロール 32

## マ

マウス 17, 30

## メ

メッセージルール 56  
メモリーボード 40  
メモリー容量 40

## モ

文字化け 53  
モデム 51

## ヨ

読み取り専用 48

## リ

リセット 16  
リチウム電池 44  
領域 37

## ワ

ワクチンプログラム 11  
ワンタッチキー 29



## 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに配給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。それ以外の場合は該当ソフトウェア配給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。また、マニュアル中に出てくる各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の米国およびその他の国における登録商標です。

@nifty

@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。

Copyright(c) 2002 NIFTY Corporation. All rights reserved.

AOL

「AOL」は America Online, Inc. の商標になります。

Copyright(c) 1999-2002, America Online, Inc.

BIGLOBE

「BIGLOBE」は、日本電気(株)の登録商標です。

Copyright(c) NEC Corporation 1997-2002

DION

DION は KDDI 株式会社の登録商標です。

Copyright(c) 2002 KDDI Corporation.

ODN

「ODN」は日本テレコム株式会社の商標になります。

Copyright(c) 2002 Japan Telecom Co., Ltd.

So-net

So-net、ソネット、および So-net のロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。

Copyright 2002 Sony Communication Network Corporation.

Engineered by 2001, 2002 Hitachi Software Engineering Co., Ltd.

DreamNet

(c) Copyright 2002 DreamNet Corporation. All Rights Reserved.

ASAHI ネット

Copyright(c) ASAHI Net, Inc.

isao.net

(c) ISAO Co. 2000-2002

AI 将棋

AI 将棋は(株)アイフォーの登録商標です。

(c) 2002 HIROSHI YAMASHITA (c) 2002 i4 CORPORATION

AI 囲碁

AI 囲碁は(株)アイフォーの登録商標です。

(c) 2002 David Fotland (c) 2002 i4 CORPORATION

AI 麻雀

AI 麻雀は(株)アイフォーの登録商標です。

(c) 2002 i4 CORPORATION

デジカメ Ninja2002

Ninja は(株)アイフォーの登録商標です。

(c) 2002 i4 Corporation

ホームページ Ninja  
Ninjaはアイフォアの登録商標です。  
(c)2002 i4 CORPORATION (c)2002 Fanfare Inc.  
SoftDVD MAX  
Copyright(c) 1996-1999 MGI Software Corp.  
(ADAMS-EPG)  
ADAMSは、テレビ朝日データ(株)の登録商標です。  
BeatJam XX-TREME  
「BeatJam」は株式会社ジャストシステムの商標です。  
Copyright(c) 2001 株式会社ジャストシステム /DigiOn Inc.  
BeatJam for HITACHI  
「BeatJam」は株式会社ジャストシステムの商標です。  
ATRAC3、およびATRAC3 ロゴ、OpenMG、NetMDはソニー株式会社の商標です。  
Copyright(c) 2001 株式会社ジャストシステム  
Drag'n Drop CD  
Drag'n Drop CDはイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの商標です。  
Copyright Easy Systems Japan Ltd. & Digion Inc. All rights reserved.  
neoDVD  
neoDVDはMedio Stream社の登録商標です。  
Copyright(c) 2002 Medio Stream, Inc. All rights reserved.  
WinDVD 3.1  
WinDVDはInterVideo, Incの商標です。  
Copyright 2001, InterVideo, Inc. All rights reserved.  
ハイパーダイヤ  
ハイパーダイヤは(株)日立情報システムズの登録商標です。  
Copyright(c) 1997-2001 (株)日立情報システムズ  
VirusScan  
VirusScanおよびNetShieldは米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国  
またはその他の国における登録商標です。  
Copyright(c) 1995-2001 Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved.  
Super Mapple Digital  
Super Mapple Digitalは(株)昭文社の登録商標です。  
Copyright(c) 2001-2002 Shobunsha Publications, Inc. All Right Reserved.  
CyberSupport  
CyberSupport、ConceptBaseは株式会社ジャストシステムの商標または登録商標です。  
CyberSupport(c) 2002 株式会社ジャストシステム  
Odigo  
(c)Copyright 2002 DreamNet Corporation. All rights reserved.  
i-Maker for Win  
(c)Copyright 2002 DreamNet Corporation. All rights reserved.  
インターネットCITY(Prius Support Page)  
Copyright(c) 1996-2002 Hitachi, Ltd.  
eAccess  
Copyright(c) 2000-2001. eAccess Ltd. All rights reserved.  
MotionDV STUDIO Ver.3.1  
Copyright(c) 1997-2001 Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd.  
Prius サウンドREC  
Copyright(c) 2001 Hitachi, Ltd.

PriusAV ランチャー  
Copyright(c) 2001 Hitachi, Ltd.  
DVD-MovieAlbumSE  
Copyright(c) Matsushita Electric Industrial Co.,Ltd. 2000-2002  
らくらく家計簿ゆとりちゃん  
Copyright(c) 1995-2000 CORPUS CORPORATION  
筆ぐるめ  
Copyright(c) 1993-2001 FujisoftABC,Inc. All rights reserved.  
ラベル王  
(c)2002 i4 CORPORATION c2001 Fanfare Inc.  
家庭の医学  
(c)2002 JIJI PRESS, LTD.  
タイピングドリーム アフロ犬  
(c)SAN-X+GREEN CAMEL  
調べtel  
Copyright(c) 2000-2001. Hitachi Keiyo Engineering & Systems, Ltd.  
All rights reserved.  
わくわくナビ  
Copyright(c) 1998-2000 Hitachi, Ltd.  
Prius Navistation  
Copyright(c) 2000 Hitachi, Ltd.  
Prius 壁紙  
Copyright(c) 2001 Hitachi, Ltd.  
Acrobat Reader  
(c) 2002 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.



## 重要なお知らせ

1. 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、禁止されています。
  2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
  3. 本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
  4. 運用した結果の影響については3項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ Microsoft, Windowsのロゴは米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。
  - ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## 困った時の Q&A

初 版 2002 年 4 月

無断転載を禁止します。

---

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

---

---

# 株式会社 日立製作所 インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

TEL:0120-8855-96

---

Copyright© Hitachi, Ltd. 2002. All rights reserved.



このマニュアルは再生紙を使用しています。

PROC750P0-1

HITACHI  
Inspire the Next

Prius  
Cモデル